SUNVISTA

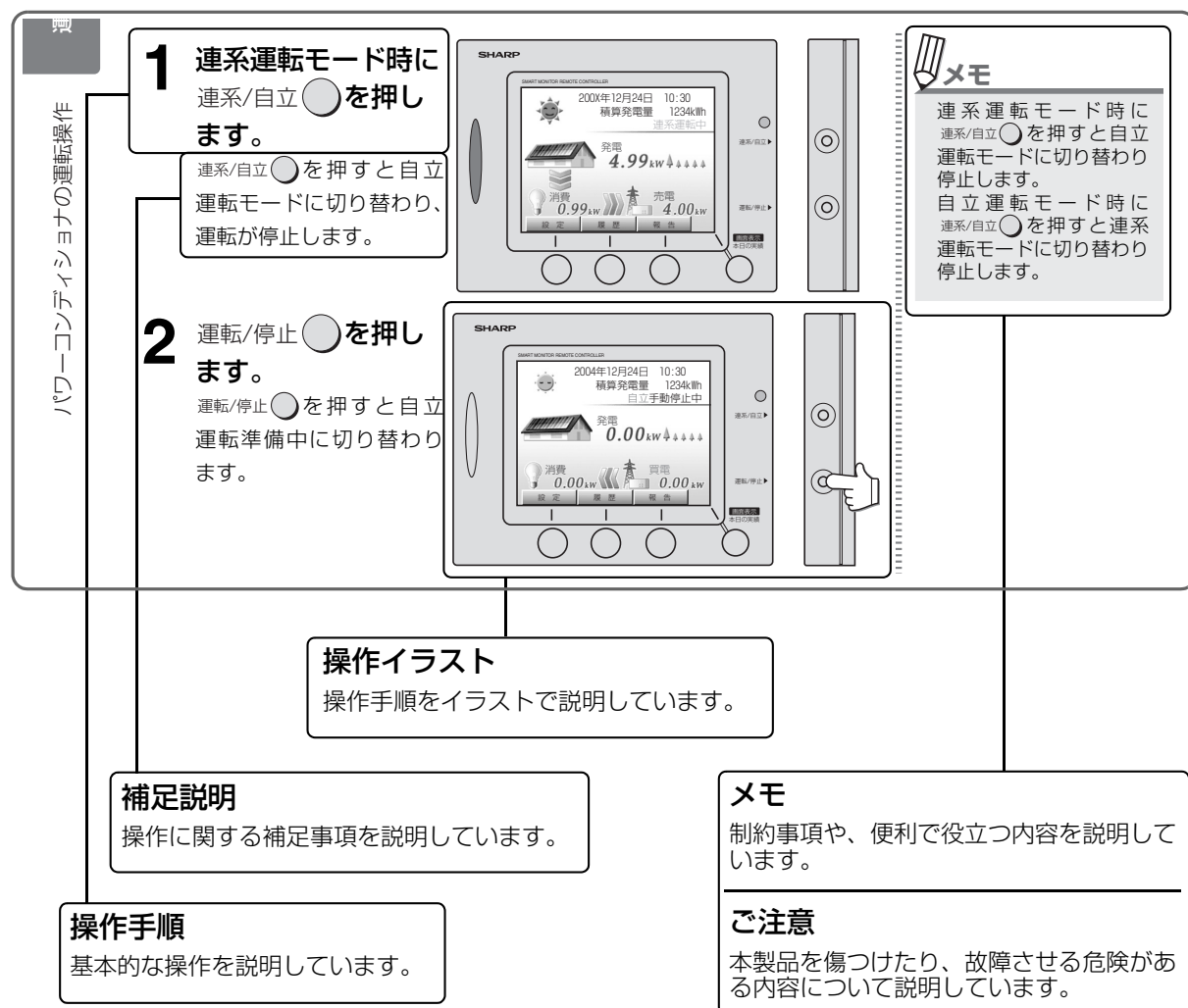
太陽電池モジュール
パワーコンディショナ
カラー電力モニタ
（ベーシックタイプ）JH-RCM1

住宅用太陽光発電システム

取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書および別冊の「取扱説明書　追補版（仕様）」「操作早見表」は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保管してください。

本書の見かた

本書内では操作手順について次のように表記しています。

操作手順でのボタンの意味

本書内ではボタンを次のように表記しています。

戻る ◯ などは操作ボタン（10 ページ）です。操作ボタンは状況によってボタン名が切り替わります。操作するときは◯の部分を押してください。

当商品は、日本国内向けであり、日本語以外の取扱説明書はございません。

This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

もくじ

ご注意

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口まで、ご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味

右記は絵表示の一例です。

⚠ **記号は、気をつける必要があることを表わしています。**

⊘ **記号は、してはいけないことを表わしています。**

❗ **記号は、しなければならないことを表わしています。**

⚠警告

- **異常のままで放置しない。**
以下の場合には、ただちにパワーコンディショナの運転を停止（57ページ）して、お買い上げの販売店にご連絡ください。
・パワーコンディショナから煙が出たり、変な音やにおいがするなどした場合
・太陽電池モジュールが飛来物などで破損や落下した場合
尚、停止した後、パワーコンディショナ、太陽電池モジュールにはさわらないで下さい。
感電・けがの恐れがあります。

- **自立運転用コンセントに以下の製品をつながない。**
自立運転時の発電電力は天候により変動します。パワーコンディショナの発電電力が自立運転用コンセントにつないだ電気機器の消費電力より小さい時は運転を停止しますので、途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受ける恐れがある以下の機器はご使用にならないでください。
・すべての医療機器、灯油やガスを用いた暖房機器
・パソコン、ワープロ等の情報機器およびその周辺機器、炊飯器、電子レンジ等の調理器具
・その他、電源が切れると生命や財産に損害を受ける恐れのある機器

- **自立運転出力を商用電力線につながない。**
自立運転用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで接続しない。
感電・発火・発煙の恐れがあります。

- **自立運転用コンセントには、自立運転時以外は電気機器を接続しない。**
熱を発生する電気機器等のスイッチがONの状態で接続されている場合、発火の恐れがあります。

- **積雪、浸水のおそれのある場所には設置しない。万一、浸水した場合はただちにパワーコンディショナの専用ブレーカーを切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。**
発火・感電・けがの恐れがあります。

- **正面・底面のパネルを開けない。**
感電の恐れがあります。

- **雷が鳴り出したらパワーコンディショナ、ケーブルに触れない。**
感電の恐れがあります。

- **パワーコンディショナは、住宅用太陽光発電用以外には使用しない。**
安全が保証できなくなり危険です。

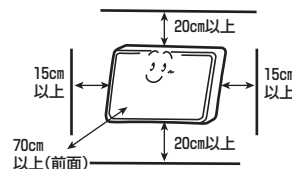
- **太陽電池、パワーコンディショナに接続されているアース線は外さない。**
発火・感電・けがの恐れがあります。

- **パワーコンディショナ付近に湯気・水蒸気、冷気、油煙、腐食性ガスを出す機器を置かない。**
絶縁が悪くなり、発火・感電の恐れがあります。

- **太陽電池、パワーコンディショナ付近で薬剤散布をしない。**
絶縁が悪くなり、発火・感電の恐れがあります。

- **パワーコンディショナ、カラー電力モニタ、売買センサー、ケーブルの分解、改造、加工や、ご自身での修理をしない。**
感電・けがの恐れがあります。

⚠注意

- **パワーコンディショナの周辺（上下20cm以内、左右15cm以内）に物を置かない。通気口をふさがない。**
  内部の放熱が不十分となり、発煙・発火の恐れがあります。
  また、点検時の作業のため、前面70cm以内に物を置かない。

- **パワーコンディショナ、カラー電力モニタは、高温になる場所または、締め切った狭い場所で使用するような状態にしない。**
  発電量低下の可能性があるとともに、部品が劣化して発煙・焼損する恐れがあります。

- **パワーコンディショナに火気を近づけない。**
  石油ストーブ等に排気の風があたると、炎が大きくなり危険です。

- **パワーコンディショナを薬品(シンナー等)や、ぬれた雑布で拭かない。**
  内部に水が入り、感電・漏電・焼損する恐れがあります。

- **パワーコンディショナを塗装しない。**
  日射によりケース内温度が異常に上昇し故障の原因になります。

- **パワーコンディショナの中に物を入れない。**
  故障の原因になります。

- **アンテナや木など太陽電池モジュールに影がかかるような状態にしない。**
  発電量低下の原因になります。

- **太陽電池モジュールのケーブルを引張ったり、曲げたり等、ケーブルにダメージを与えない。**
  断線や漏電の危険があります。

- **太陽電池モジュールのガラス面に乗らない。雪かきをしない。**
  故障の原因になります。また、ガラスが割れて、感電・漏電・けがの恐れがあります。

- 長く上手にご使用いただく為に、定期点検契約されることをおすすめします。ご購入いただいた販売店にご相談ください。

- **ラジオ、テレビなど、電波を利用する機器はパワーコンディショナから３m以上離す。**
  機器への受信障害の原因になります。

- **カラー電力モニタをアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤で拭かない。**
  変色・変形・変質や故障の原因になります。

- **パワーコンディショナ、カラー電力モニタの上に乗ったり、ぶらさがったり、物を置いたりしない。**
  落下・転倒・けがの恐れがあります。

- **太陽電池モジュールに物を接触させない。（布団をかけるなど）**
  発電量の低下や故障（発熱）の原因となります。可燃物の場合には焼損の原因となります。

- **太陽電池モジュールのガラス面に物を投げたり、落としたりしない。**
  ガラスが割れたり、故障の原因になります。

- 台風シーズンの前後や、地震、強風の後は、架台などの固定ネジにゆるみや異常がないかサービス会社またはお買い上げの販売店にご相談下さい。

本製品について

本製品は、自宅の屋根などに設置した太陽電池で暮らしに必要な電気を発電する太陽光発電システムです。太陽光発電システムはパワーコンディショナで運転を管理され、運転操作や発電の状況確認はカラー電力モニタで行います。

住宅用太陽光発電システムについて

住宅用太陽光発電システムは、自宅の屋根などに設置した太陽電池で暮らしに必要な電気を発電します。電力会社の配電する商用電力と系統連系することによって発電した電気が余った場合は電力会社に売り（売電）、発電した電気が不足した場合には電力会社から買う（買電）ことができます。必要な電力を確保しつつ、発電した電気を無駄なく活用することができる合理的なシステムです。

例：日中の連系運転時

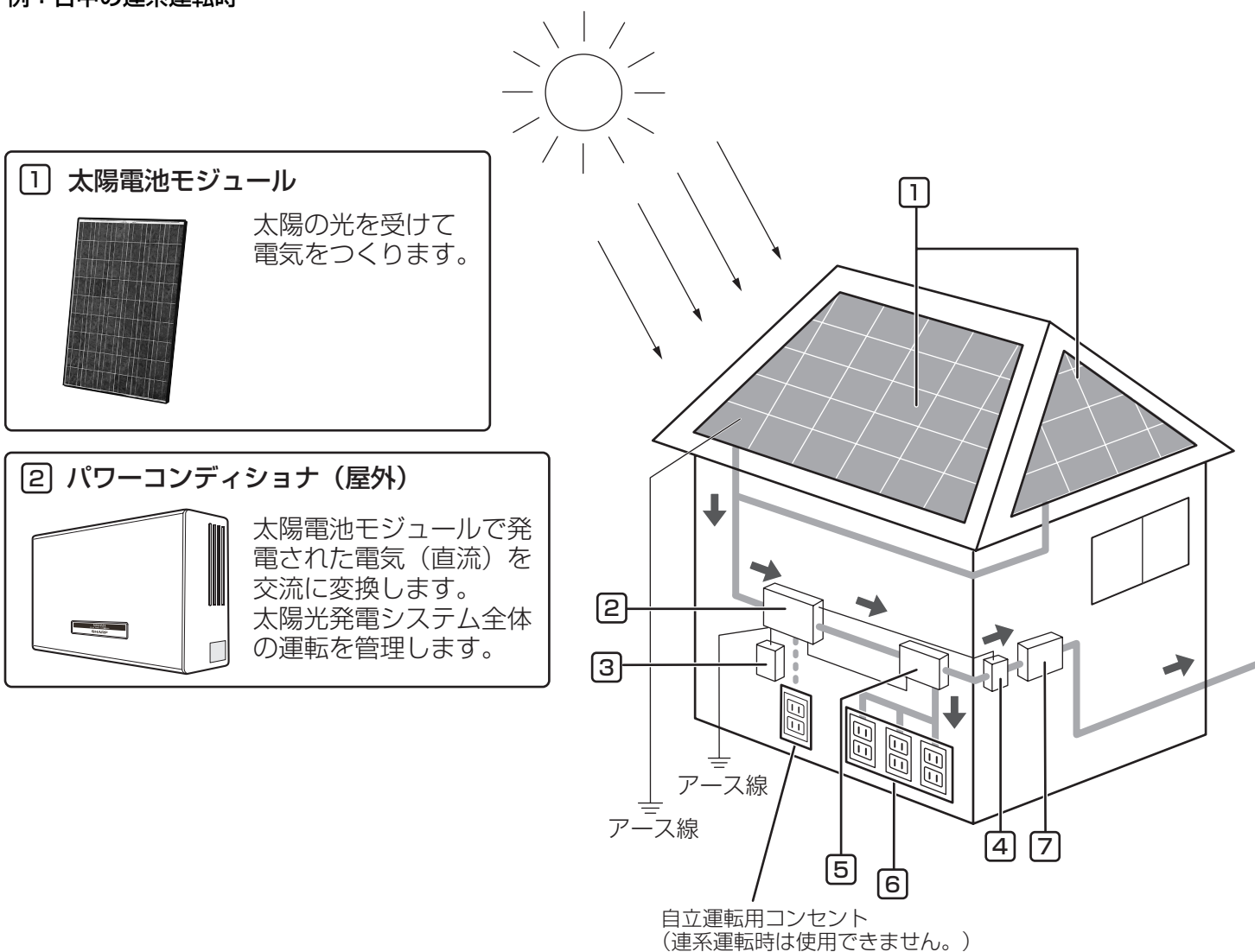
1 太陽電池モジュール

太陽の光を受けて電気をつくります。

2 パワーコンディショナ（屋外）

太陽電池モジュールで発電された電気（直流）を交流に変換します。
太陽光発電システム全体の運転を管理します。

3 カラー電力モニタ（屋内）

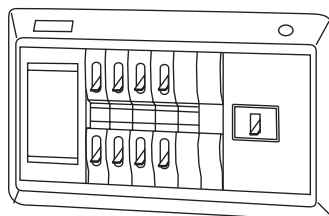
パワーコンディショナの運転操作を行います。
現在の発電状況や過去の発電データを表示します。

8 **余った電気を電力会社に送り（売り）ます。**

7 **電力量計※**

売った電力量と買った電力量をそれぞれの電力量計で計量します。

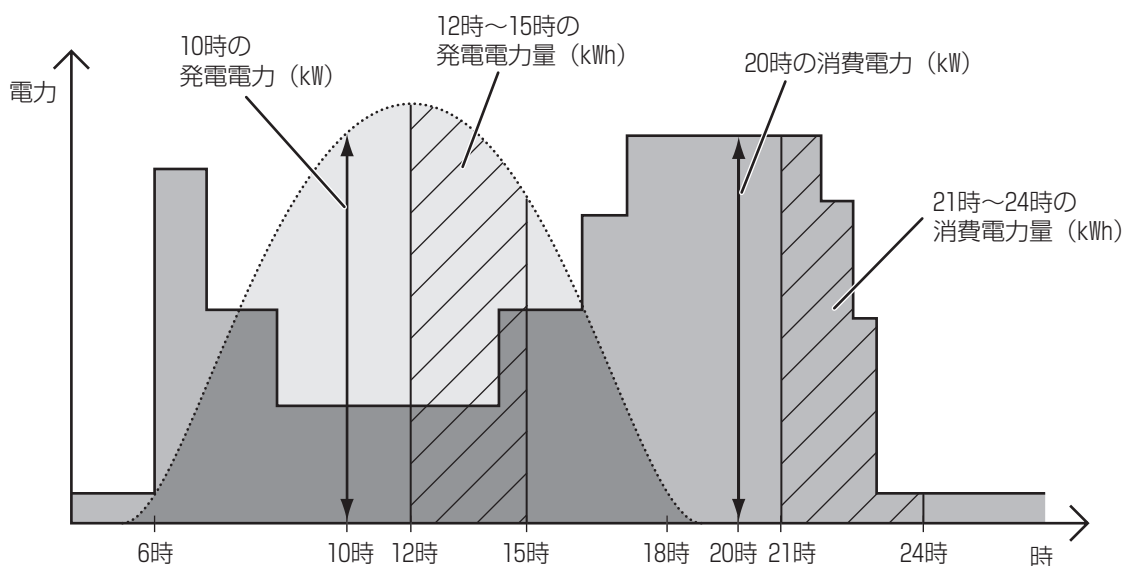
※電力量計は有効期限があり、定期的に交換が必要です。お住まいの地域によっては売電電力量計の交換費用がお客様負担の場合があります。交換に関しては、電気工事店または電力会社にお問い合わせください。
電量計と売買センサーの計量値は、製品ごとに計測精度が違うため、表示が異なる場合があります。

6 **ご家庭のコンセント**
電気機器を接続して使用します。

5 **屋内分電盤**

変換した電気をご家庭のコンセントに分配します。
余った電気を電力会社に送り（売り）ます。

4 **売買センサー**
カラー電力モニタに表示する売電量／買電量を計量します。

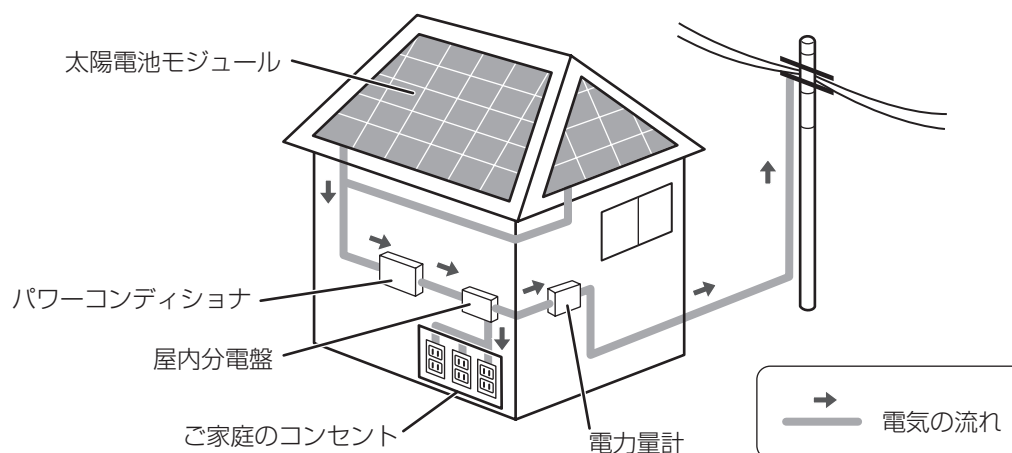
電力と電力量

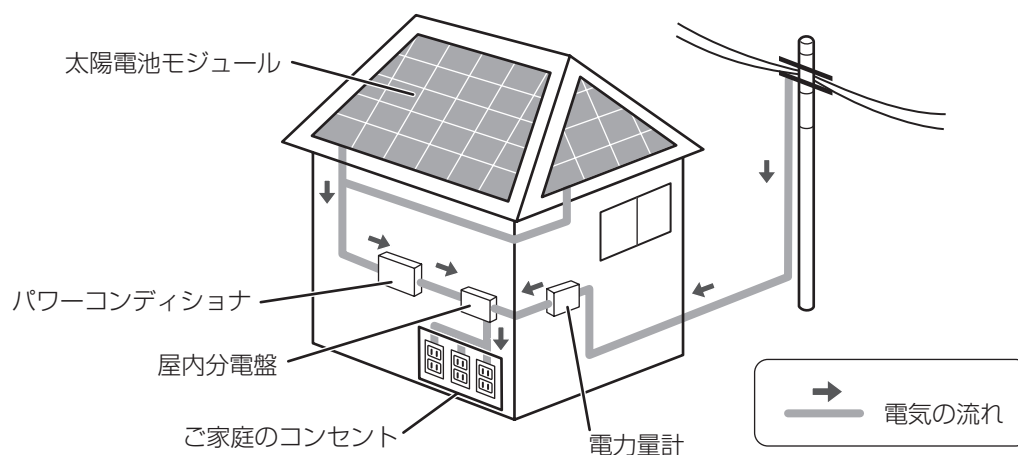
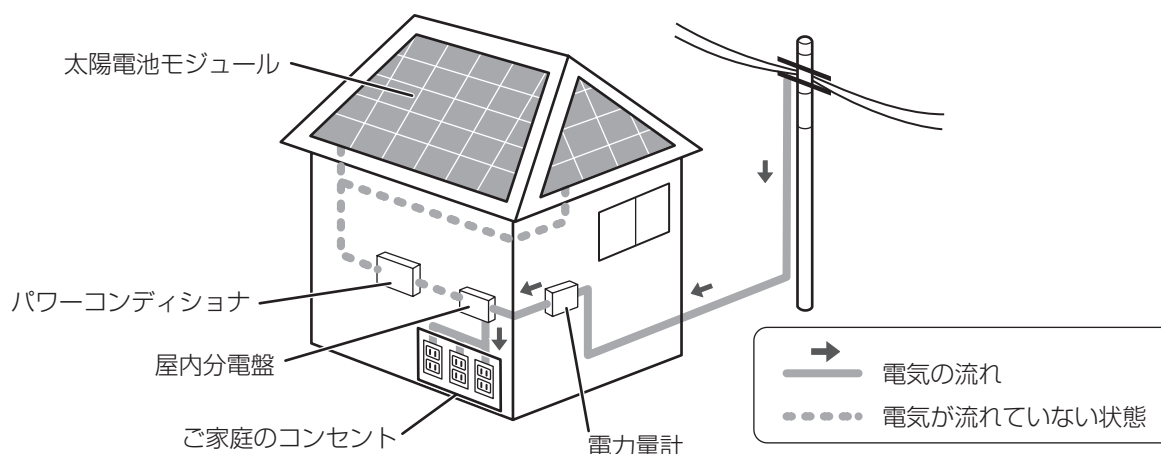
電力は、時々刻々変化するある瞬間における値です。単位は「kW」(キロワット)で表します。
電力量は、時々刻々変化する電力のある期間の合計値です。単位は「kWh」(キロワットアワー)で、例えば2kWの電気を3時間使い続けた場合、2(kW)×3(h)=6(kWh)の消費電力量となります。

発電電力と家庭内消費電力の1日の推移例

売り電力(売電)と買い電力(買電)

連系運転時、昼間に多く発電し余った電力が自動的に電力会社に送られている状態を売電状態、発電しない夜間や雨などで発電電力が少ない時に電力会社から電力の供給を受けている状態を買電状態といいます。

売り電力(売電)状態

太陽光発電の発電電力がご家庭の消費電力より大きい場合、余った電力を電力会社に売ります。

買い電力（買電）状態

太陽光発電の発電電力がご家庭の消費電力より小さい場合、不足分の電力を電力会社から買います。

夜間や雨天などで太陽光発電が行われていない場合、電力を電力会社から買います。

カラー電力モニタの主な特長

運転や発電の状態をわかりやすくカラー表示

パワーコンディショナの運転や発電の状態を、カラー液晶ディスプレイに表示します。
現在の発電量やご家庭の消費電力、売り／買い電力量をわかりやすく表示します。（12～13ページ）
また、発電を開始した日から現在までの積算発電量を表示します。（12ページ）

運転状況をランプでお知らせ

パワーコンディショナの運転状況を運転状態表示ランプで確認できます。（9ページ）

本日の我が家の発電所の状況（本日の発電実績）

本日の積算発電電力量と最大発電電力を簡単な操作でディスプレイに表示します。（25ページ）

過去の発電電力量表示（履歴表示）

過去の消費・発電電力量、売り・買い電力量を１時間／１日／１ヶ月単位で表示して確認することができます。
また、グラフで表示したり電力量を電気料金に換算して表示することができます。（28ページ）

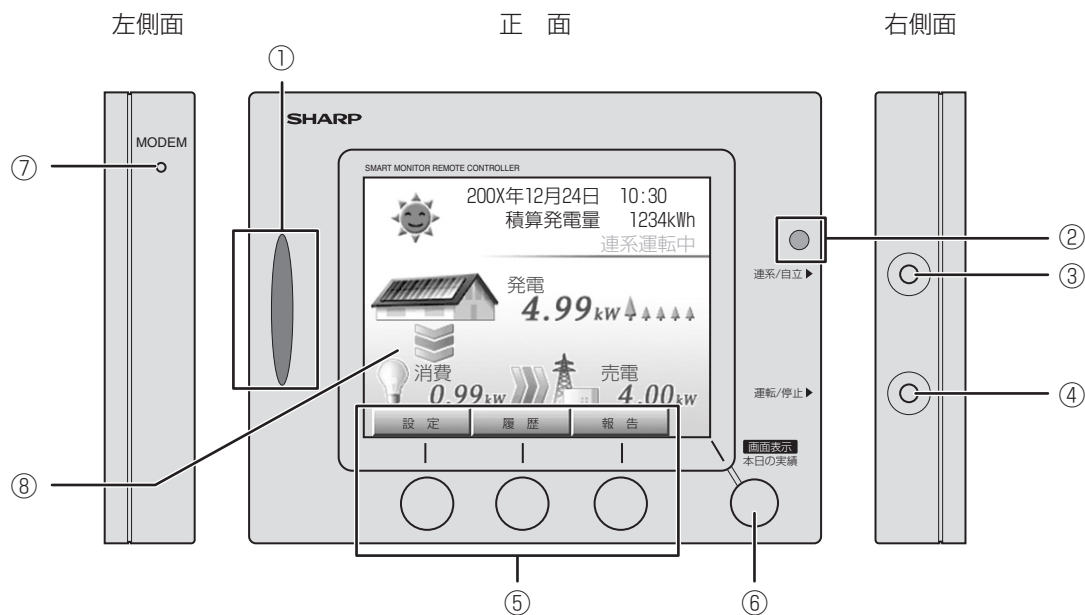
省エネナビ機能（目標消費電力量達成状況）

ご家庭での１ヶ月の目標消費電力量を設定し、その目標値を超えたときにディスプレイに を表示してお知らせします。（37ページ）

お知らせ機能

発電開始記念日や最も発電量が多かったときなど、発電量についてイベントが発生したときや抑制機能がはたらいたときにディスプレイに を表示してお知らせします。（35ページ）

各部のなまえとはたらき（カラー電力モニタ）

外観

①運転状態表示ランプ（9ページ）

パワーコンディショナの運転状態をランプでお知らせします。

②連系/自立ランプ（9ページ）

パワーコンディショナの運転モード（連系運転／自立運転）をランプでお知らせします。

③連系/自立スイッチ（23、24ページ）

パワーコンディショナの運転モード（連系運転／自立運転）を切り替えます。

④運転/停止スイッチ（15～16、20～21ページ）

パワーコンディショナの運転／停止を切り替えます。

⑤操作ボタン表示エリア／操作ボタン（10ページ）

操作に必要なボタンの名称がディスプレイに表示されますので、表示の下の ◯ を押します。
（表示部分を押しても動作しません。）

⑥画面表示/本日の実績ボタン

約１分間、何も操作を行わないとディスプレイの表示は自動的に消えます。
ディスプレイの表示が消えているときにこのボタンを押すと、ディスプレイの表示がついて通常画面が表示されます。
通常画面が表示されているときにこのボタンを押すと、本日の発電実績を表示します。（25ページ）
操作を行っているとき（通常画面以外の表示のとき）にこのボタンを押すと操作を中止し通常画面に戻ります。

⑦モデム用ピンジャック端子

モニタリングサービスにご加入の場合に、モデムとの接続に使用するピンジャック端子です。
ご使用にならない場合は、異物などが入らないように注意してください。
※ モニタリングサービスについては、取扱説明書 追補版（モニタリングサービス）をご参照ください。

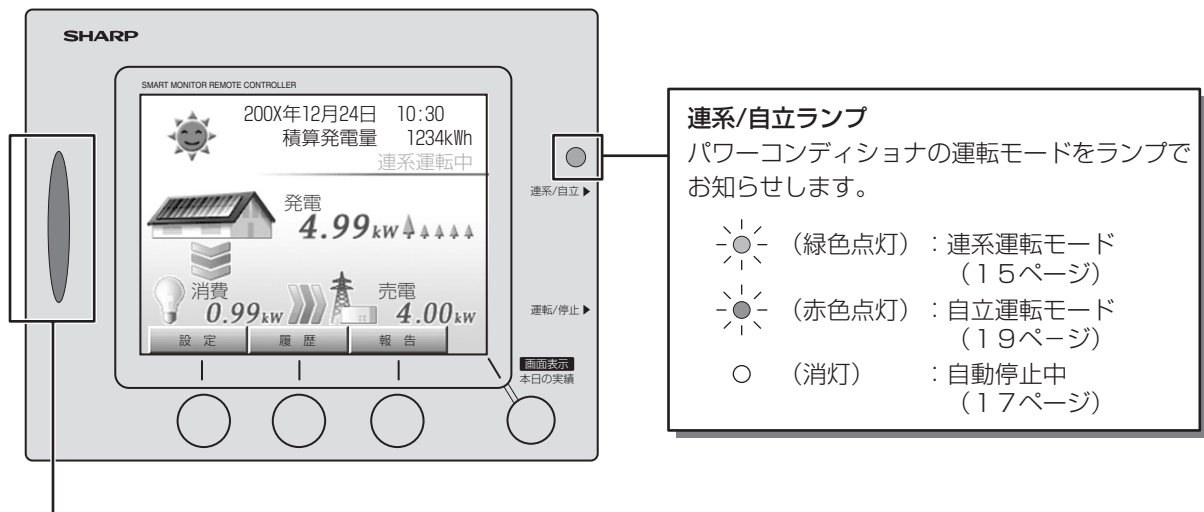
⑧ディスプレイ

現在の運転や発電の状態、電気の流れなどを表示しています。また、過去の発電量などを表示して確認することができます。

ランプについて

パワーコンディショナの運転や発電の状態を運転状態表示ランプでお知らせします。
パワーコンディショナの運転モードを連系/自立ランプでお知らせします。

連系/自立ランプ
パワーコンディショナの運転モードをランプでお知らせします。

- （緑色点灯）：連系運転モード（１５ページ）
- （赤色点灯）：自立運転モード（１９ページ）
- ○（消灯）：自動停止中（１７ページ）

運転状態表示ランプ
パワーコンディショナの運転状態をランプでお知らせします。

連系運転中の場合

（青色点灯）：売電状態

（橙色点灯）：買電状態

（消灯）：準備中または自動停止中／連系手動停止中

自立運転中の場合

（青色点灯）：自立運転中

（消灯）：準備中または自動停止中／自立手動停止中

ご注意

ランプが両方点滅している場合は、ディスプレイの表示内容にしたがって対応してください。（51～52ページ）

操作ボタンについて

操作ボタンは、各種設定を行うときや発電の履歴を見るときなどに使用します。
操作に必要なボタンの名称がディスプレイに表示されますので、表示の下の ◯ を押してください。

ご注意

表示部分を押さないでください。故障の原因になる恐れがあります。

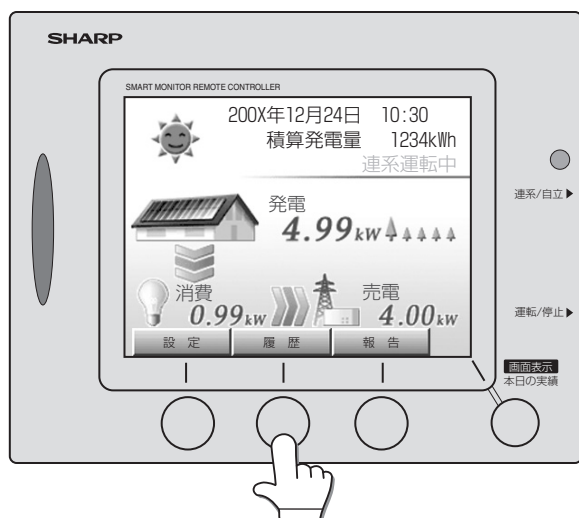
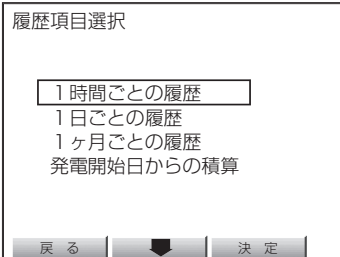
約１分間、操作を行わないとディスプレイの表示は自動的に消えます。

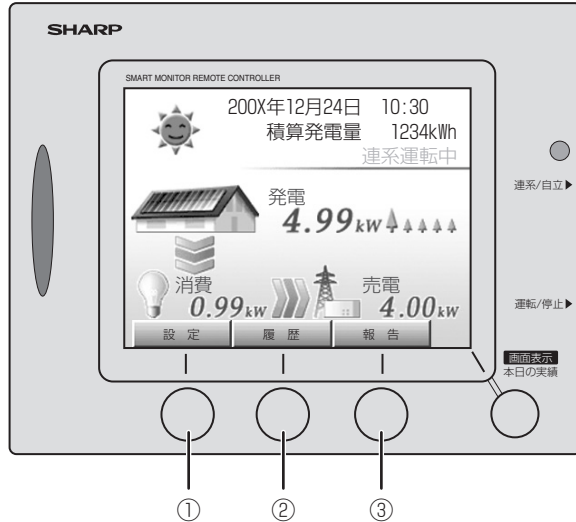
ディスプレイの表示が消えているときに ◯ 画面表示 本日の実績 を押すとディスプレイの表示がつきます。（13ページ）

ディスプレイの表示が消えているときは、運転などの操作ができません。

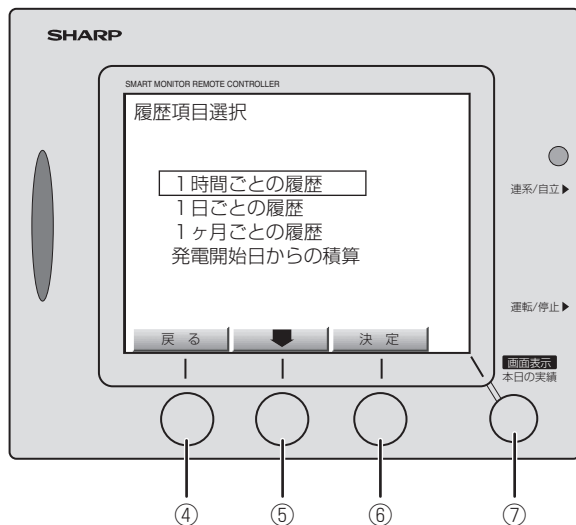
※ただし、停止操作のみは出来ますので、誤って停止させないようご注意ください。

操作ボタンの使いかた

操作ボタンを使用するときは、操作ボタン表示エリアに表示されている名称の下の ◯ を押します。

画面表示が変わると操作ボタン名称も変わります。画面の操作ボタン名称を確認してから を押してください。
例えば通常画面と履歴項目選択画面では次のように操作ボタン名称が変わります。

表示例１：通常画面

左の画面では、操作ボタンは次のようなはたらきをします。

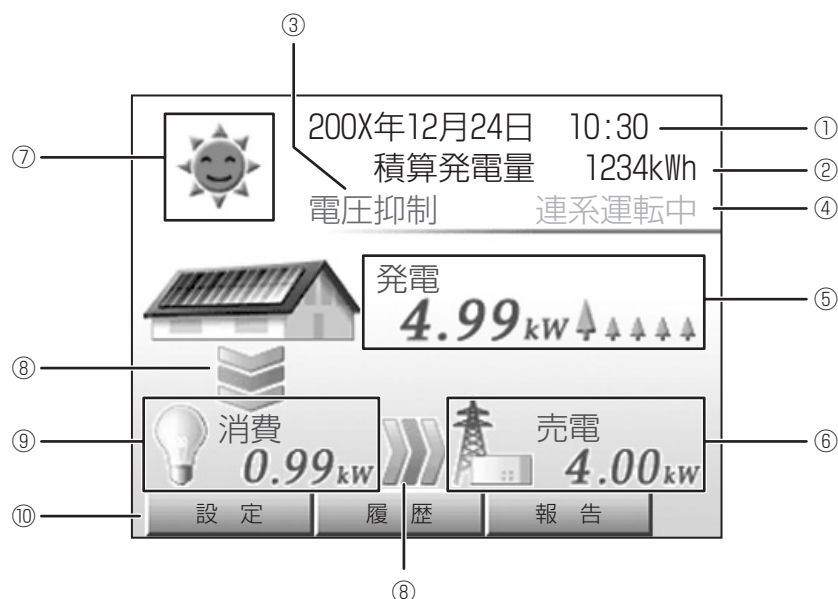
①各種設定を行うときに押します。
②発電や消費電力量、売り／買い電力量の履歴を確認するときに押します。
③お知らせ機能の内容を確認するときに押します。

表示例２：履歴項目選択画面

左の画面では、操作ボタンは次のようなはたらきをします。

④１つ前の画面に戻るときに押します。
⑤画面上で項目を選択するときに押します。
⑥選択や入力した項目に決定するときに押します。

⑦操作を中止して通常画面を表示します。

ディスプレイの表示について

カラー液晶ディスプレイでは、イラストやマークを使用してパワーコンディショナの運転状態や発電の状態などをわかりやすく表示しています。
ここでは、通常画面の表示について説明します。

①現在時刻

現在の日付と時刻を表示します。正確な日付・時刻が表示されていなければ設定を行ってください。（43ページ）

②積算発電量

発電を開始した日からの積算発電量を表示します。

③抑制状態表示（50ページ）

抑制機能がはたらいている場合に、抑制状態を赤色で表示します。

④運転モード

パワーコンディショナの運転モードを表示します。

●連系運転モード時は緑色の文字で表示します。（15～17ページ）
「連系運転中」、「連系準備中」、「自動停止中」、「連系手動停止中」（「停止中」が黒色点滅します）

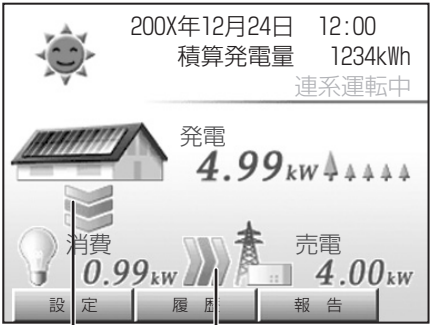
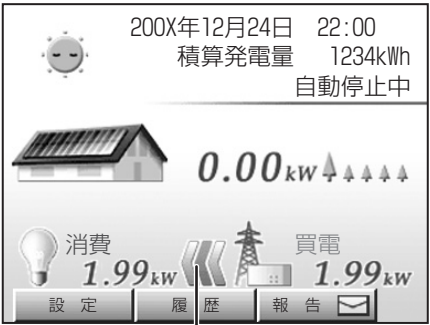
●自立運転モード時は橙色の文字で表示します。（20～21ページ）
「自立運転中」、「自立準備中」、「自動停止中」、「自立手動停止中」（「停止中」が黒色点滅します）

●故障が発生した場合「点検」と橙色の文字で点滅表示します。

⑤発電電力（18ページ）

太陽光発電で発電中の発電電力（kW）を数値で表示し、今月の積算発電電力量（kWh）を木のアイコンで表示します。

⑥売電／買電状態表示（6、7ページ）

売電／買電の状態を表示します。　は電力会社を表しています。

⑦運転状態

パワーコンディショナの運転状態を太陽アイコンで表示します。

運転状態	運転中	準備中	自動停止中	点検
太陽アイコン	（交互に表示します）	（交互に表示します）		

⑧電気の流れ

電気の流れを表します。売電時は青色、買電時は橙色で向きを変えて表示します。

⑨消費電力

ご家庭の消費電力を数値で表示します。 はご家庭を表しています。

⑩操作ボタン表示エリア

操作ボタンの名称を表示します。（10ページ）

お知らせ機能でお知らせ項目が発生したとき、報　告 に を表示します。（35ページ）

メモ

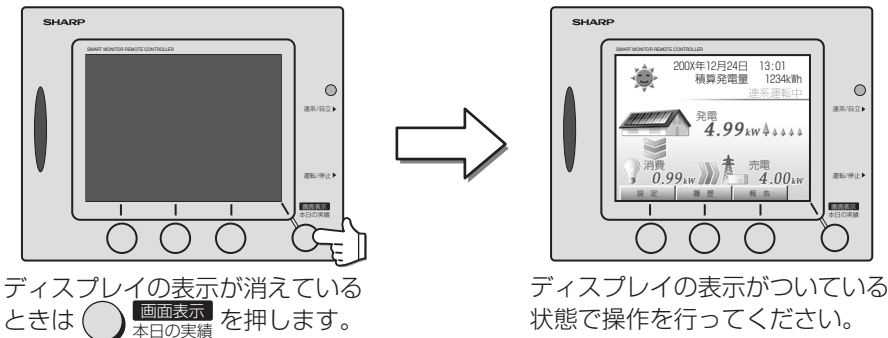
本製品は計量法の対象製品ではありません。積算発電量（②）、発電電力（⑤）、売電／買電電力（⑥）、消費電力（⑨）で表示される数値は目安ですので、電力量計の値や電力会社からの請求書の値と異なる場合があります。

ディスプレイの表示が消えているときは

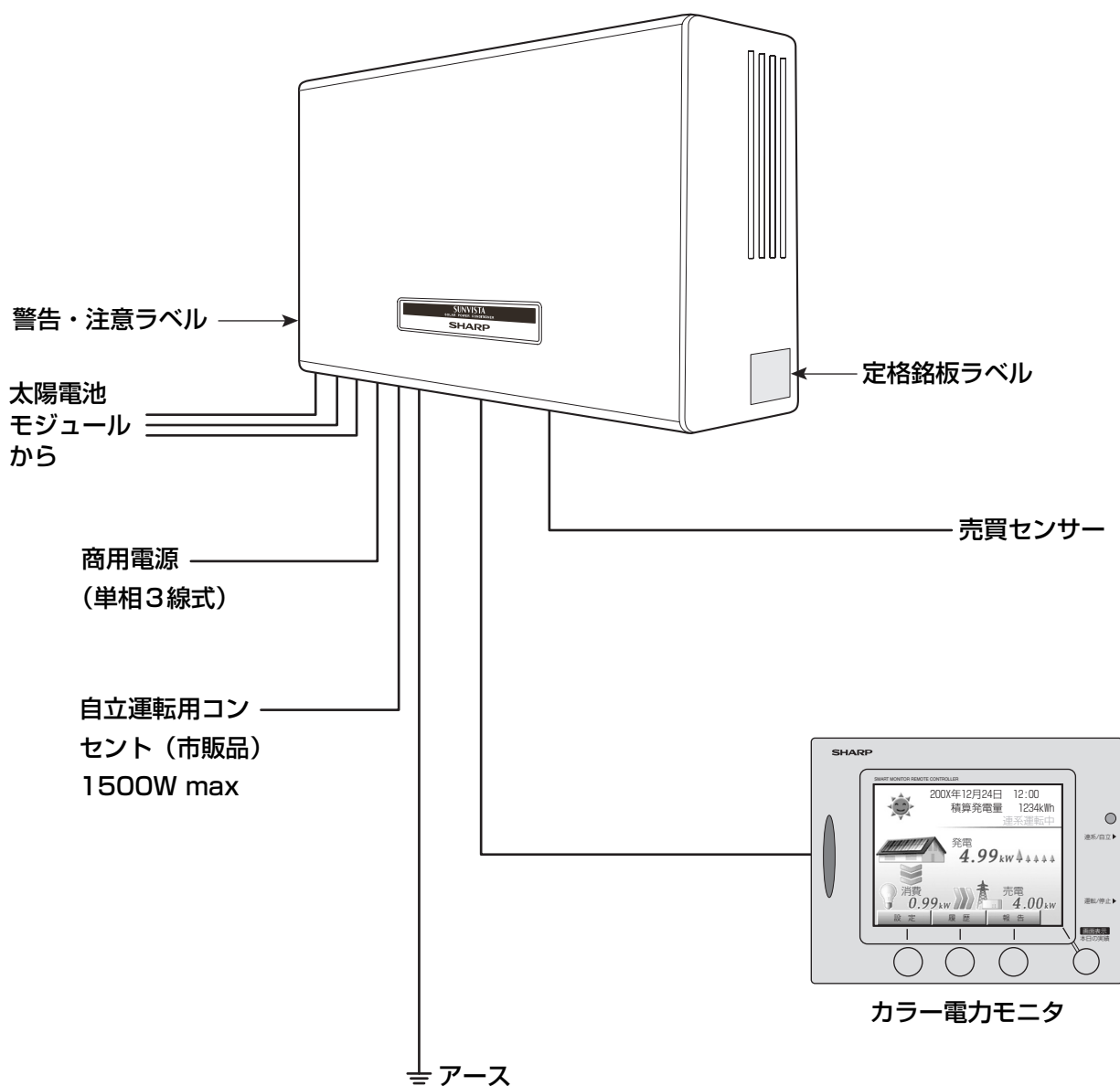
約1分間、何も操作を行わないとディスプレイの表示が自動的に消えます。ディスプレイの表示が消えているときは、運転などの操作ができません。

その場合は、ディスプレイの表示をつけてから操作を行ってください。

ディスプレイの表示が消えているときは 画面表示 本日の実績 を押します。

ディスプレイの表示がついている状態で操作を行ってください。

各部のなまえとはたらき（パワーコンディショナ）

パワーコンディショナ

パワーコンディショナは、太陽電池モジュールで発電された直流電気を交流に変換し、太陽光発電システム全体の運転を管理します。

パワーコンディショナの運転操作

ここでは、パワーコンディショナの運転開始や停止などの操作方法と運転モードを切り替える方法について説明します。

連系運転モード

連系運転モードで運転しているときは、日の出とともに自動的に運転を開始し、日の入りとともに自動的に停止します。特に操作する必要はありません。
また、連系運転モードでは、日中は発電して余った電力を電力会社に売り、夜間や発電電力が少ない雨の日などは電力を電力会社から購入します。特に操作する必要はありません。通常は連系運転モードで運転してください。

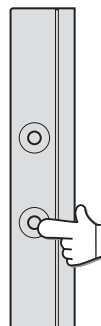
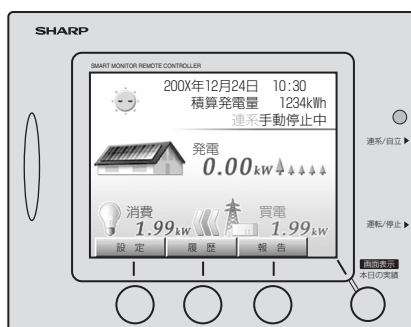
連系運転を開始する

連系運転モードで停止中に運転/停止◯を押して運転を開始します。
運転/停止◯を押すと、運転の準備を行ってから運転を開始します。

メモ

ディスプレイの表示が消えているときは、◯画面表示/本日の実績を押してディスプレイの表示をつけてから操作してください。（13ページ）

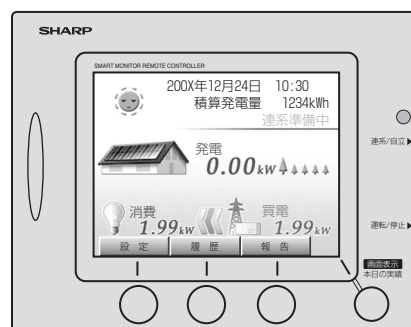
1 運転/停止◯**を押します。**

連系運転モードで停止しているときは、「連系手動停止中」と表示しています。

ご注意

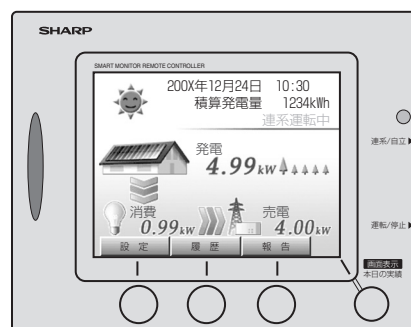
自立運転モードで運転が停止しているときは、連系/自立◯を押して連系運転モードに切り替えてから運転開始の操作を行ってください。**（24ページ）**

2 **運転の準備を行います。**

パワーコンディショナで運転の準備を行います。

「連系準備中」と表示します。

3 **約3秒後に運転を開始します。**

運転の準備が整うと、運転を開始します。

「連系運転中」と表示します。

ご注意

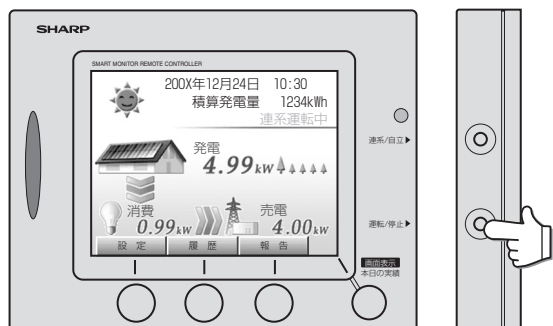
太陽光発電が行われていない、または停電などで電力会社から正常に電気が供給されていない場合、連系運転を開始できません。

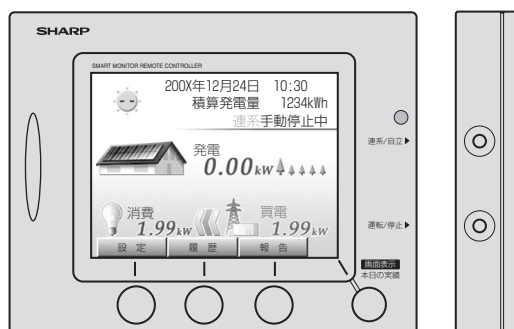
連系運転中に運転を停止する

連系運転中または連系準備中に 運転/停止 を押して運転を停止します。

ディスプレイの表示が消えているときは、 画面表示 本日の実績 を押してディスプレイの表示をつけてから操作してください。(13ページ)

1 運転/停止 **を押します。**

運転中は「連系運転中」と表示しています。

2 **運転を停止します。**

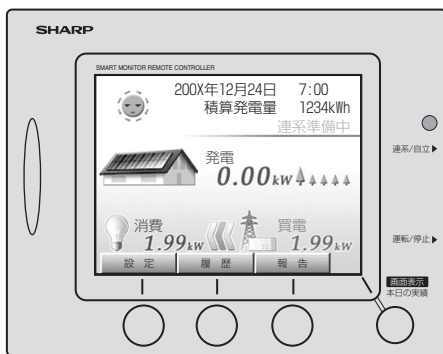
運転が停止すると「連系手動停止中」と表示します。

1日の運転状態

連系運転モードで通常運転しているとき、1日の運転状態は次のようになります。

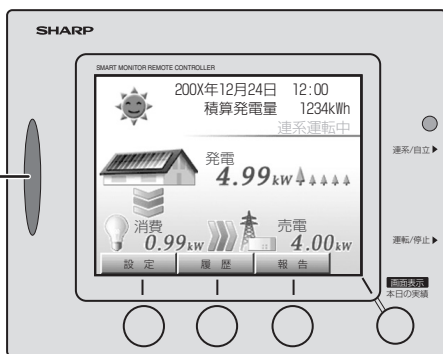
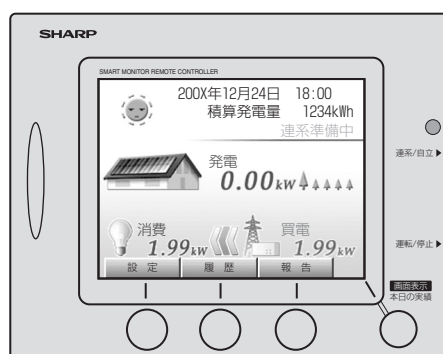
日が昇り運転開始までの間

（準備中）

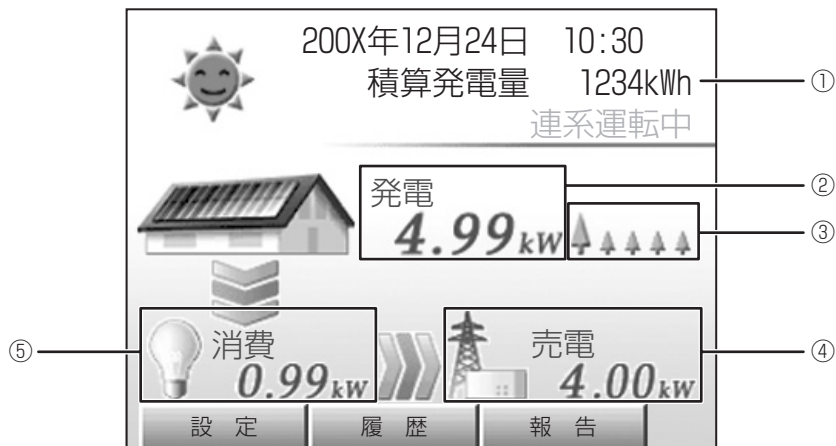
日中、太陽光発電が行われているとき

（運転中）

日が沈み運転停止までの間

（準備中）

日照が無くなり太陽光発電が行われていないとき（夜間）

（自動停止中）

発電量の見かた

通常運転画面では発電を開始してからの積算発電量（kWh)、今月の積算発電量（kWh)、現在の発電電力（kW）を表示しています。ディスプレイに表示される電力（kW）や電力量（kWh）の値は目安です。

①積算発電量

発電を開始した日から現在までの積算発電電力量を表示しています。

②現在の発電電力

発電中の発電電力（kW）を表示しています。

③今月の積算発電量

今月の積算発電電力量を木のアイコン（ または ）で表示します。木のアイコンは四季によって色が変わります。

今月の積算発電電力量	木のアイコン
0～100kWh未満	苗木が5本並んでいます。
100～200kWh未満	左端の1本が成木に変わります。
100kWh増えるごと	（成木）が1本ずつ増えます。

④売電／買電状態（6、7ページ）

現在の売電／買電状態を表示します。
売電のときは青色で表示し電力会社に売っている（送っている）電力（kW）を表示します。
買電のときは橙色で表示し電力会社から購入している電力（kW）を表示します。

売電状態のとき青色で表示します。

電気の流れは右向き矢印で表示します。
（電力会社に電気を売っている状態）

買電状態のとき橙色で表示します。

電気の流れは左向き矢印で表示します。
（電力会社から電気を買っている状態）

⑤消費電力（kW）

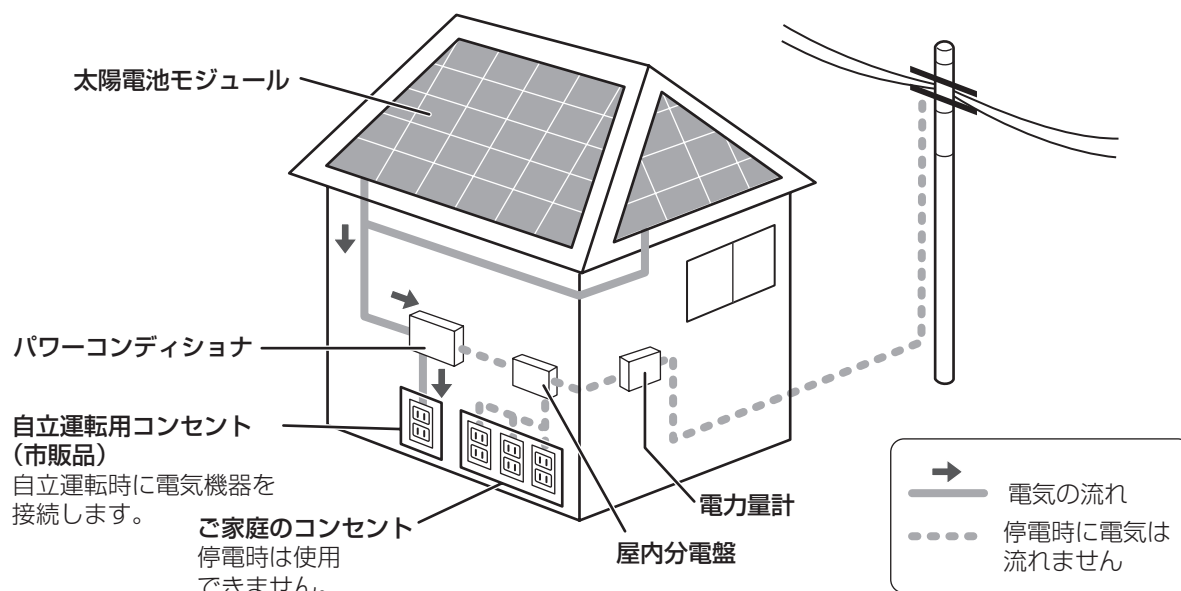
ご家庭の消費電力（kW）を表示します。

自立運転モード

自立運転モードは、太陽光発電で発電した電気を自立運転用のコンセントに供給します。余った電気を電力会社に売ったり、不足分を購入することはできません。
自立運転モードでは、発電した電力が自立運転用コンセントに接続されている機器の消費電力より大きな場合のみ運転することができます。
自立運転を行う場合、自立運転モードの注意点（22ページ）をよくお読みになって正しくお使いください。
自立運転用コンセントは本製品に付属していません。設置するときは、お買いあげの販売店にご相談ください。

自立運転モードは、停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。
停電が回復したときは、連系運転モードに切り替えてください。（24ページ）

自立運転モード時（停電時）の電気の流れ

自立運転時は太陽電池モジュールで発電した電気を自立運転用コンセントで使用します。

自立運転を開始する

自立運転モードで停止中に 運転/停止 を押して運転を開始します。

運転/停止 を押すと、運転開始の準備を行ってから運転を開始します。

自立運転でお使いになる電気機器は自立運転用コンセントに接続してください。（19ページ）

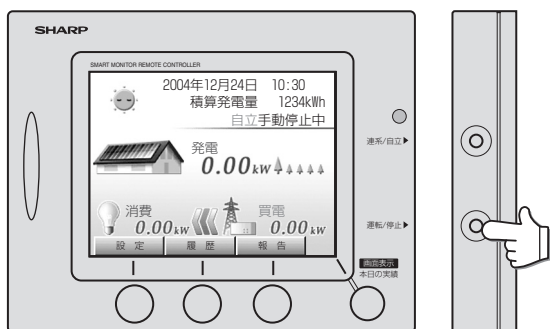
ディスプレイの表示が消えているときは、 画面表示 本日の実績 を押してディスプレイの表示をつけてから操作してください。（13ページ）

ご注意

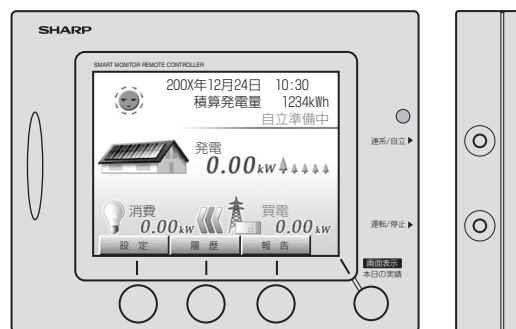
連系運転モードで運転が停止しているときは、連系/自立 を押して自立運転モードに切り替えてから運転開始の操作を行ってください。**（23ページ）**

1 **自立運転用コンセントにお使いになる機器を接続します。**

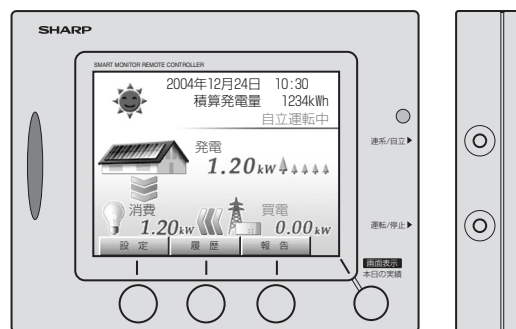
2 運転/停止 **を押します。**

自立運転モードで停止しているときは、「自立手動停止中」と表示しています。

3 **運転の準備を行います。**

パワーコンディショナが運転の準備を行います。

「自立準備中」と表示します。

4 **約3秒後に運転を開始します。**

運転の準備が整うと、運転を開始します。

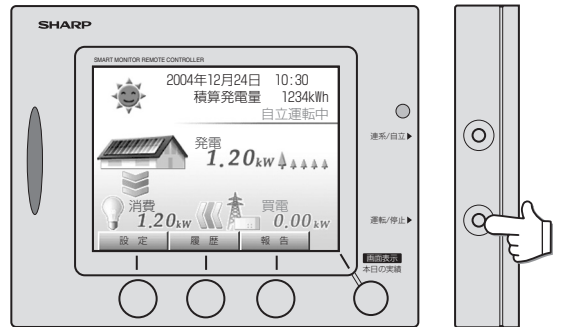
「自立運転中」と表示します。

自立運転を停止する

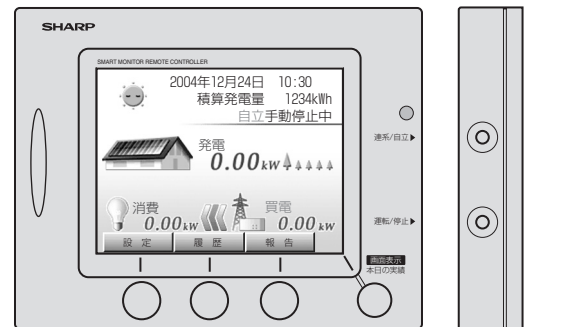
自立運転中または自立準備中に運転/停止◯を押して運転を停止します。

メモ

ディスプレイの表示が消えているときは、◯画面表示 本日の実績 を押してディスプレイの表示をつけてから操作してください。（13ページ）

1 **運転/停止◯を押します。**

運転中は「自立運転中」と表示しています。

2 **運転が停止します。**

運転が停止すると「自立手動停止中」と表示します。

自立運転モードの注意点

太陽電池モジュールが発電していないときは使用できません。
夜間など発電できないときは、自立運転モードで運転できません。

自立運転用コンセントを使用してください。
自立運転モードは、自立運転用コンセントのみに発電電力が供給されます。
停電時にその他のコンセントは使用できません。

パワーコンディショナの運転音が大きくなる場合があります。
自立運転モードで運転中は、パワーコンディショナの運転音が連系運転モード時より大きくなる場合がありますが、異常ではありません。

発電電力より消費電力が小さな機器を使用してください。
太陽光発電で発電した電力よりも自立運転用コンセントに接続した機器の消費電力が大きな場合、自立運転モードで運転できません。
自立運転用コンセントで使用できる電力は最大で1500Wまでです。消費電力が1500Wまでの電気機器をご使用ください。
モータで動作する電気機器の中には、動作開始時に突入電流が流れて動作できないものがあります。（掃除機、冷蔵庫、ドライヤ、電気ドリルなど）

使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。
太陽光発電で発電した電力のみを使用するため天候の変化などで発電電力が不安定になることがあります。発電電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止します。

自立運転モードで自動停止した翌日は 運転/停止 を押して自立運転を開始してください。
自立運転モードで運転していると、日の入りとともに自動的に運転を停止しますが、翌朝に日の出を迎えても自動的に運転を開始しません。自立運転を行う場合は、運転/停止 を押して自立運転を開始してください。

自立運転時の発電電力量と自立運転用コンセントからの消費電力量は積算されません。
自立運転モード時に太陽光発電した電力量と自立運転用コンセントで消費した電力量は積算電力に反映されません。

⚠ 警告

自立運転用コンセントに以下の製品をつながないでください。

自立運転時の発電電力は天候により変動します。パワーコンディショナの発電電力が自立運転用コンセントにつないだ電気機器の消費電力より小さい時は運転を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受ける恐れがある以下の機器はご使用にならないでください。

・すべての医療機器、灯油やガスを用いた暖房機器
・パソコン、ワープロ等の情報機器およびその周辺機器、炊飯器、電子レンジ等の調理器具
・その他、電源が切れると生命や財産に損害を受ける恐れのある機器

運転モードを切り替える

パワーコンディショナの運転モードは、連系/自立◯を押して切り替えます。
運転モードを切り替えてから運転/停止◯を押して運転を開始します。

連系運転から自立運転に切り替える

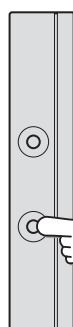
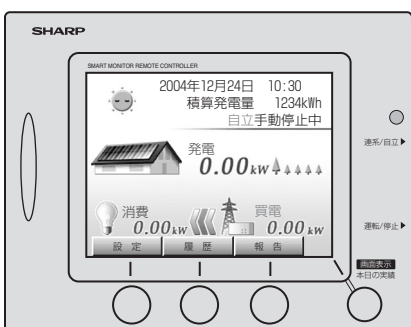
メモ

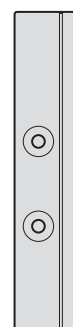
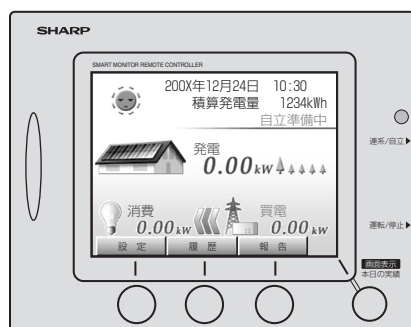
ディスプレイの表示が消えているときは、◯画面表示/本日の実績 を押してディスプレイの表示をつけてから操作してください。（13ページ）

1 **連系運転モード時に連系/自立◯を押します。**

連系/自立◯を押すと自立運転モードに切り替わり、運転が停止します。

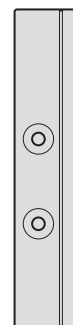
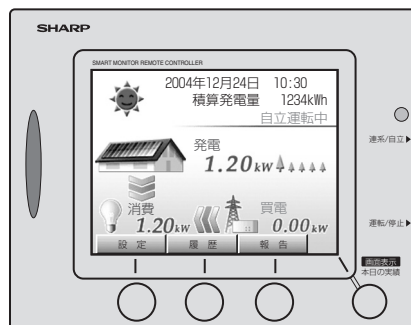
2 **運転/停止◯を押します。**

運転/停止◯を押すと自立運転準備中に切り替わります。

3 **自立運転の準備を行います。**

「自立準備中」と表示します。

4 **自立運転が開始されます。**

「自立運転中」と表示します。

メモ

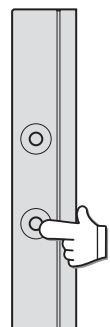
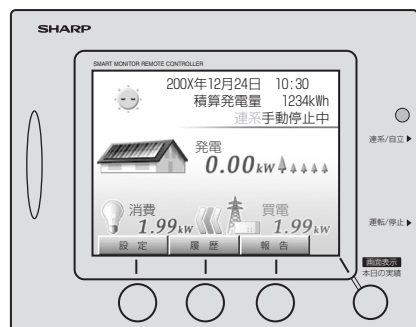
連系運転モード時に連系/自立◯を押すと自立運転モードに切り替わり停止します。
自立運転モード時に連系/自立◯を押すと連系運転モードに切り替わり停止します。

自立運転から連系運転に切り替える

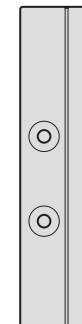
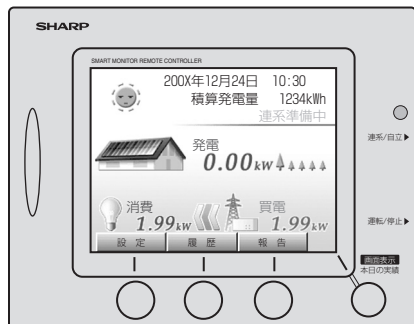
ディスプレイの表示が消えているときは、◯ 画面表示 本日の実績 を押してディスプレイの表示をつけてから操作してください。（13ページ）

1 自立運転モード時に連系/自立◯を押します。

連系/自立◯を押すと連系運転モードに切り替わり、運転が停止します。

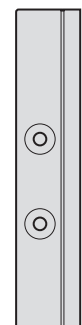
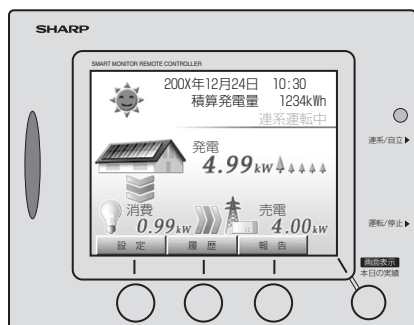
2 運転/停止◯を押します。

運転/停止◯を押すと連系運転準備中に切り替わります。

3 連系運転の準備を行います。

「連系準備中」と表示します。

4 連系運転が開始されます。

「連系運転中」と表示します。

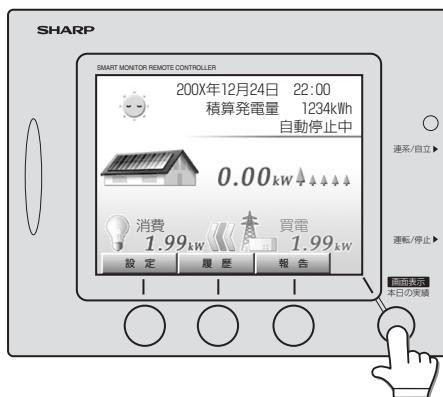
メモ

自立運転モード時に連系/自立◯を押すと連系運転モードに切り替わり停止します。
連系運転モード時に連系/自立◯を押すと自立運転モードに切り替わり停止します。

本日の発電量を見る（我が家の発電所の状況）

本日の発電実績の画面を表示して、朝からの発電状況を確認します。発電実績の画面では、発電状況（グラフ表示）・発電電力量・最大発電電力を表示します。

約1分間、何も操作を行わないとディスプレイの表示は自動的に消えます。

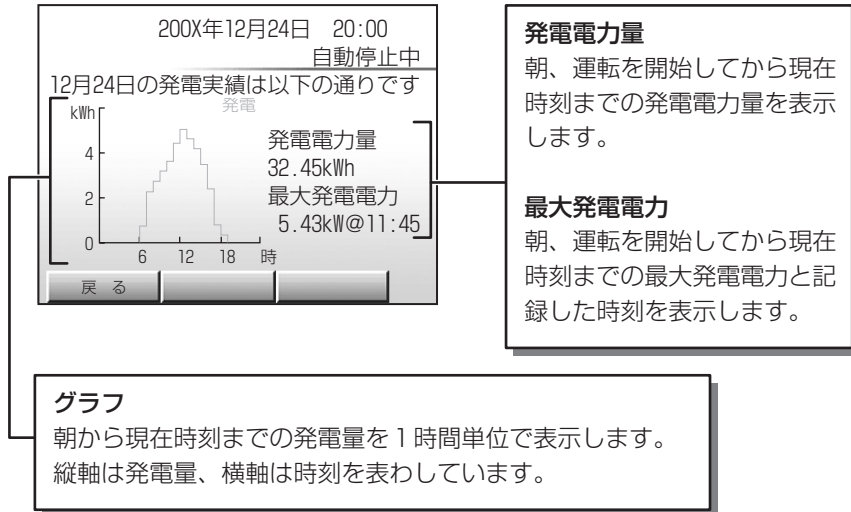
ディスプレイの表示が消えているときは、〇 画面表示 本日の実績 を押してディスプレイの表示をつけてから操作してください。（13 ページ）

1 通常画面表示中に 〇 画面表示 本日の実績 を押します。

2 本日の発電実績が表示されます。

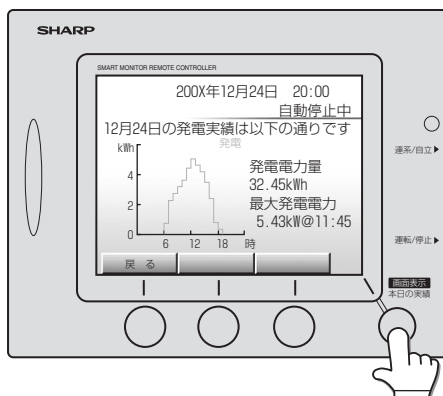
現在時刻までの発電電力量と最大発電電力を表示します。

発電電力量
朝、運転を開始してから現在時刻までの発電電力量を表示します。

最大発電電力
朝、運転を開始してから現在時刻までの最大発電電力と記録した時刻を表示します。

グラフ
朝から現在時刻までの発電量を1時間単位で表示します。
縦軸は発電量、横軸は時刻を表わしています。

3 〇 画面表示 本日の実績 を押します。

通常画面に戻ります。

左の画面を表示中に 戻る 〇 を押すと通常画面に戻ります。

発電などの履歴を確認する

履歴画面を表示して、過去に記録した電力量を確認します。
過去に記録した消費電力量、発電電力量、売り電力量、買い電力量を数値またはグラフで表示します。表示のしかたは、1時間ごと／1日ごと／1ヶ月ごとから選択することができます。
また、1ヶ月ごとについては各電力量を電気料金やCO_2削減量に換算した値※で表示することもできます。
※CO_2削減量に換算表示できるのは発電電力量のみです。

履歴画面の表示方法は「表示内容一覧」（下記）のとおりです。また、履歴画面を表示する操作についてまとめた「履歴画面操作フロー」（27ページ）も合わせてご参照ください。
詳しい操作手順については28ページをご参照ください。

表示内容一覧

履歴項目選択（期間）	表示形式選択	表示内容
1時間ごと	数値表示（消費・発電）	消費電力量
		発電電力量
	数値表示（売り・買い）	売り電力量
		買い電力量
	グラフ表示	消費電力量
		発電電力量
1日ごと	数値表示（消費・発電）	消費電力量
		発電電力量
	数値表示（売り・買い）	売り電力量
		買い電力量
	グラフ表示	消費電力量
		発電電力量
1ヶ月ごと	数値表示（消費・発電）	消費電力量
		発電電力量
	数値表示（売り・買い）	売り電力量
		買い電力量
	グラフ表示	消費電力量
		発電電力量
	数値表示（電力量換算）	CO_2削減量
		発電電力量料金
		消費電力量料金
		売り電力量料金
		買い電力量料金
発電開始日からの積算	数値表示	消費電力量
		発電電力量
		売り電力量
		買い電力量
		CO_2削減量

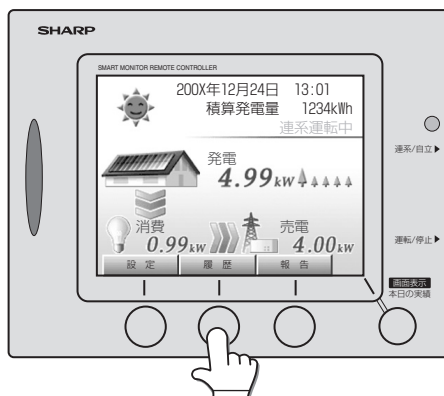
履歴画面操作フロー

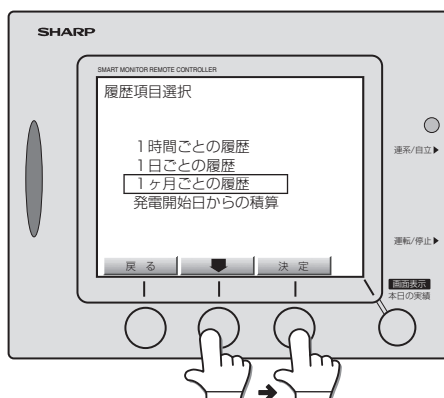
履　歴
1時間ごとの履歴
消費・発電電力量（数値表示）
消費・発電電力量（30ページ）
売り・買い電力量（数値表示）
売り・買い電力量（31ページ）
グラフ表示
消費・発電電力量（32ページ）
1日ごとの履歴
消費・発電電力量（数値表示）
消費・発電電力量（30ページ）
売り・買い電力量（数値表示）
売り・買い電力量（31ページ）
グラフ表示
消費・発電電力量（32ページ）
1ヶ月ごとの履歴
消費・発電電力量（数値表示）
消費・発電電力量（30ページ）
売り・買い電力量（数値表示）
売り・買い電力量（31ページ）
グラフ表示
消費・発電電力量（32ページ）
電力量換算（数値表示）
CO2削減量（33ページ）
発電電力量料金（33ページ）
消費電力量料金（33ページ）
売り電力量料金（33ページ）
買い電力量料金（33ページ）
発電開始日からの積算（数値表示）
消費電力量（34ページ）
発電電力量（34ページ）
売り電力量（34ページ）
買い電力量（34ページ）
CO2削減量（34ページ）

消費・発電／売り・買い電力量の履歴を表示する

メモ

ディスプレイの表示が消えているときは、画面表示 本日の実績 を押してディスプレイの表示をつけてから操作してください。（13ページ）

1 通常画面表示中に 履歴 を押します。

2 ▼ を押して履歴項目を選び、決定 を押します。

選択したい項目に □ を移動させて、決定 を押します。

1時間ごとの履歴　　：1時間単位で過去の電力量を表示します。
たとえば、10時と表示されている場合は10時台（10:00〜11:00）の電力量を表示します。

1日ごとの履歴　　　：1日単位で過去の電力量を表示します。

1ヶ月ごとの履歴　　：1ヶ月単位で過去の電力量を表示します。（1日〜月末まで）

発電開始日からの積算：ご家庭で発電を開始したときからの積算電力量を表示します。（34ページ）

3 [▼]を押して表示形式を選び、[決 定]を押します。

選択したい項目に［　］を移動させてから、[決 定]を押します。

[戻る]を押すと手順2（28ページ）の画面に戻ります。

消費・発電電力量　：消費電力量の履歴、発電電力量の履歴を表示します。（30ページ）

売り・買い電力量　：売り電力量の履歴、買い電力量の履歴を表示します。（31ページ）

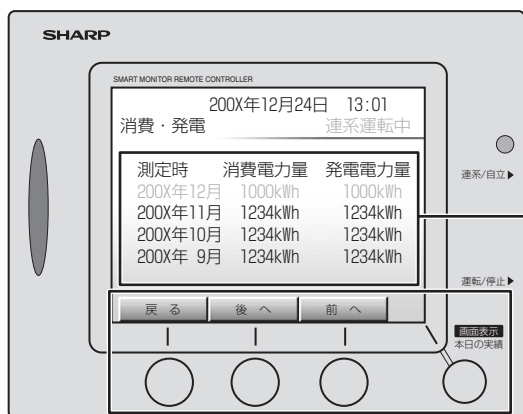
グラフ表示　：発電電力量、消費電力量の履歴をグラフで表示します。（32ページ）

電力量換算　：各電力量（1ヶ月単位のみ）を電気料金やCO_2削減量に換算して表示します。（33ページ）

消費・発電電力量

過去に記録した消費電力量、発電電力量を表示します。
履歴項目は、1時間ごと／1日ごと／1ヶ月ごとから選択することができ（28ページ）、新しいものから4件表示します。

グラフ表示（32ページ）では、発電電力量と消費電力量をグラフで表示します。
換算表示（33ページ）では、消費電力量と発電電力量を1ヶ月単位で電気料金やCO_2削減量に換算した値※で表示します。
※CO_2削減量に換算表示できるのは発電電力量のみです。

例：1ヶ月ごとの消費・発電画面

この画面を表示中に操作ボタンを押すと次のようにはたらきます。

戻る を押すと表示形式選択画面（２９ページ）に戻ります。

後へ を押すと後（次）の４件の履歴を表示します。

前へ を押すと前の４件の履歴を表示します。

画面表示 本日の実績 を押すと通常画面に戻ります。

メモ

- 履歴は、1時間ごとの表示では過去72時間分まで表示できます。1日ごとの表示では過去32日分、1ヶ月ごとの表示では過去24ヶ月分まで表示できます。
- ディスプレイに表示される消費電力量、発電電力量の値は目安です。

売り・買い電力量

過去に記録した売り電力量、買い電力量を表示します。
履歴項目は、1時間ごと／1日ごと／1ヶ月ごとから選択することができ（28ページ）、新しいものから4件表示します。

換算表示（33ページ）では、売り電力量と買い電力量を1ヶ月単位で電気料金に換算した値で表示します。

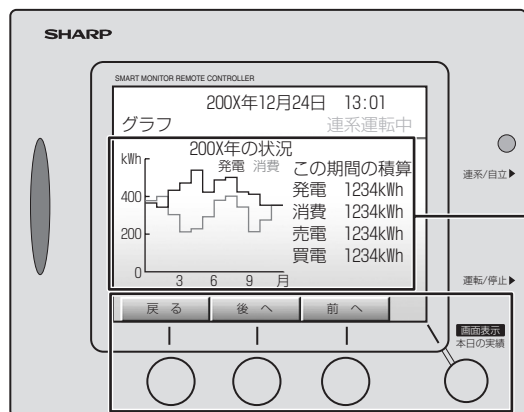
例：1ヶ月ごとの売り・買い画面

メモ

- 履歴は、1時間ごとの表示では過去72時間分まで表示できます。1日ごとの表示では過去32日分、1ヶ月ごとの表示では過去24ヶ月分まで表示できます。
- ディスプレイに表示される売り電力量、買い電力量の値は目安です。

グラフ表示

過去に記録した消費電力量と発電電力量をグラフで表示します。
グラフで表示している期間の、発電電力量・消費電力量・売り電力量・買い電力量の積算した値を表示します。
履歴項目は、1時間ごと／1日ごと／1ヶ月ごとから選択することができます。（28ページ）
　1時間ごとの表示の場合、1日分の記録した電力量をグラフにします。
　1日ごとの表示の場合、半月分（1～15日または16日～月末）の記録した電力量をグラフにします。
　1ヶ月ごとの表示の場合、1年分の記録した電力量をグラフにします。

例：1ヶ月ごとのグラフ表示画面

200X年　の状況
グラフ表示している期間を表示しています。

グラフ
各電力量をグラフ表示しています。グラフの意味は次のとおりです。
　縦軸：記録した電力量　　黒色：発電電力量
　横軸：時間（月または日）　橙色：消費電力量

この期間の積算
グラフ表示している期間の各電力量の積算値を表示しています。
履歴項目によって、次のような積算値を表示します。
　1時間ごとの表示：1日の積算電力量
　1日ごとの表示　：半月の積算電力量
　1ヶ月ごとの表示：1年間の積算電力量

この画面を表示中に操作ボタンを押すと次のようにはたらきます。

［戻る］を押すと表示形式選択画面（29ページ）に戻ります。

［後へ］を押すと後（次）の期間の履歴を表示します。

　1時間ごとの表示：次の日の履歴を表示します。
　1日ごとの表示　：半月後の履歴を表示します。
　1ヶ月ごとの表示：次の年の履歴を表示します。

［前へ］を押すと前の期間の履歴を表示します。

　1時間ごとの表示：前の日の履歴を表示します。
　1日ごとの表示　：半月前の履歴を表示します。
　1ヶ月ごとの表示：前の年の履歴を表示します。

［画面表示／本日の実績］を押すと通常画面に戻ります。

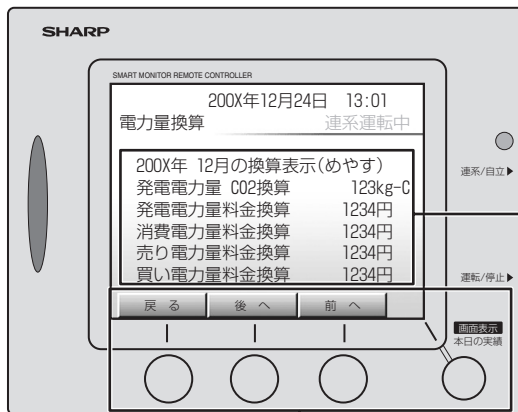
メモ

- グラフ表示は、1時間ごとの表示では過去3日分まで表示できます。1日ごとの表示では過去3ヶ月分、1ヶ月ごとの表示では過去5年分まで表示できます。
- ディスプレイに表示されるグラフや各電力量の値は目安です。

電力量換算

過去に記録した発電電力量・消費電力量・売り電力量・買い電力量の1ヶ月分を電気料金に換算して表示します。また、発電電力量のみCO_2削減量に換算して表示します。
換算表示は過去3ヶ月分まで表示できます。

> 電力量料金換算を行う場合、あらかじめ電気料金換算値を設定しておいてください。（45ページ）
> 電気料金の変更などで電気料金換算値を変更すると、過去の換算値も再計算して変更します。電気料金換算値を変更する前に過去の換算値の控えをとることをお勧めします。

電力量換算画面

200X年　12月の換算表示
換算表示している期間です。

発電電力量CO_2換算
発電電力量（1ヶ月分）をCO_2削減量に換算した値です。

電力量料金換算
各電力量（1ヶ月分）を電気料金に換算した金額です。

この画面を表示中に操作ボタンを押すと次のようにはたらきます。

［戻る］を押すと表示形式選択画面（２９ページ）に戻ります。

［後へ］を押すと後（次）の月の電力量換算内容を表示します。

［前へ］を押すと前の月の電力量換算内容を表示します。

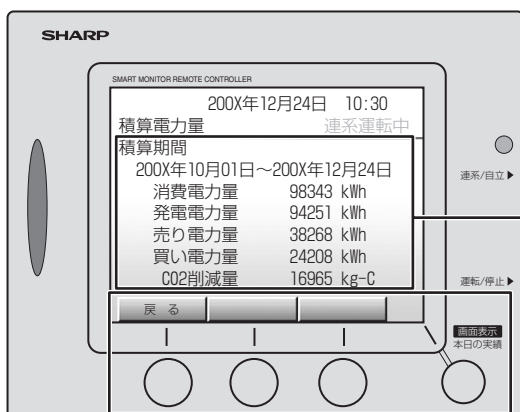
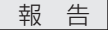
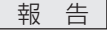
［画面表示 本日の実績］を押すと通常画面に戻ります。

メモ

- 各電力量の換算式は下記のとおりです。
  発電電力量CO_2換算　：太陽電池の発電量（kWh）×削減係数0.18（kg-C/kWh）（63ページ参照）
  発電電力量料金換算　：発電電力量（kWh）×売り単価（円/kWh）
  消費電力量料金換算　：消費電力量（kWh）×買い単価（円/kWh）
  売り電力量料金換算　：売り電力量（kWh）×売り単価（円/kWh）
  買い電力量料金換算　：基本料金の日割り金額（円）＋買い電力量（kWh）×買い単価（円/kWh）
- 各電力量は目安であり、また、各電気料金は「電気料金換算値を設定する」（45 ページ）で設定する単価で計算するため、実際の電気料金とは異なる場合があります。

発電開始日からの積算電力量を確認する

初めて発電を行ったときから現在までの消費電力量・発電電力量・売り電力量・買い電力量の積算値を表示します。また、発電電力量の積算値をCO_2換算した値を「CO_2削減量」として表示します。

積算電力量画面

メモ

本製品は計量法の対象製品ではありません。ディスプレイに表示される積算電力量やCO_2削減量の値は目安ですので、電力量計の値や電力会社からの請求書の値と異なる場合があります。

お知らせ機能を使用する

お知らせ機能とは、お知らせ内容について達成や更新などが発生したとき、操作ボタン表示エリアの 報 告 に ✉ を表示してお知らせする機能です。
例えば、「省エネナビ機能」の場合は設定された目標消費電力量に対して、実際の消費電力量が超えたときに 報 告 が 報告 ✉ に変わってお知らせします。
報告✉ を押してお知らせ内容を確認します。
お知らせ内容を確認するときは、「お知らせ内容の見かた」（36ページ）の操作を行って、各内容の確認画面を表示します。

お知らせ内容

次の内容について達成や更新などが発生したときにお知らせします。

省エネナビ機能（目標消費電力量達成状況）（37ページ）

１ヶ月の目標消費電力量から日々の目標消費電力量を算出し、その目標消費電力量を超えたときお知らせします。月初めには先月の実績をお知らせします。

発電電力量達成（39ページ）

初めて発電を開始したときからの発電電力量が、一定の値になったときお知らせします。

発電開始記念日（39ページ）

初めて発電を開始した日を記念日として、毎年記念日が来るとお知らせします。

最大発電電力ベスト５（40ページ）

最大発電電力がこれまでに記録した値の上位から5番目以内に入ったときお知らせします。

電圧上昇抑制発生状況（40ページ）

パワーコンディショナで電圧上昇抑制機能がはたらいたとき、お知らせします。

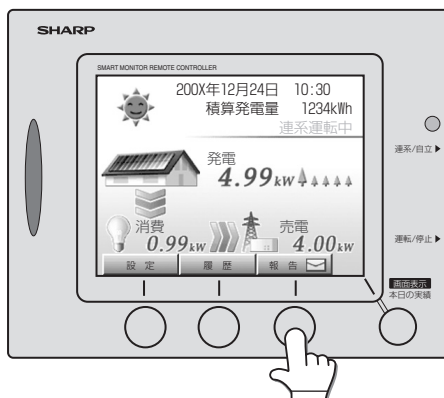
お知らせ内容の見かた

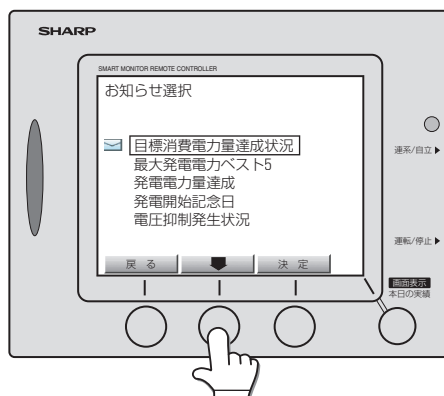
最新のお知らせ内容が発生したときは、操作ボタン表示エリアの 報　告 に ✉ を表示してお知らせします。報告✉ を押してお知らせ内容を確認します。お知らせ内容を確認すると 報告✉ が 報　告 に変わります。

メモ

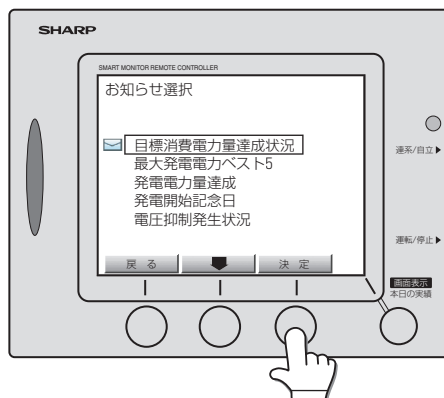
ディスプレイの表示が消えているときは、画面表示 本日の実績 を押してディスプレイの表示をつけてから操作してください。（13ページ）

1 報告✉ を押します。

お知らせ内容が発生したときは、報告✉ を表示しています。

2 ⬇ を押して確認したいお知らせ内容を選びます。

お知らせがあった項目の先頭に ✉ を表示しています。
⬇ を押して、確認したいお知らせ内容に □ を移動させます。
一度内容を確認すると項目の先頭に表示していた ✉ が消えます。
✉ を表示していない項目でも確認することができます。

3 決　定 を押します。

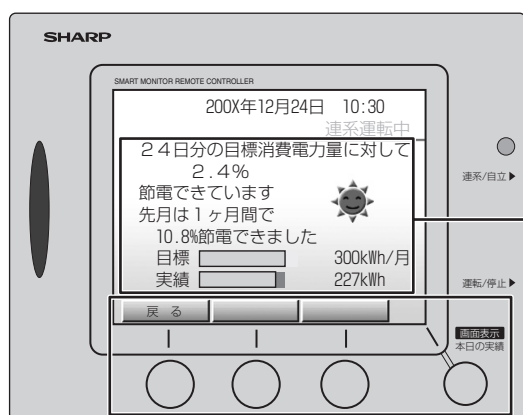
お知らせ内容を表示します。内容については以下のページをご参照ください。

省エネナビ機能（目標消費電力量達成状況）　：37ページ
発電電力量達成　：39ページ
発電開始記念日　：39ページ
最大発電電力ベスト5：40ページ
電圧抑制発生状況（電圧上昇抑制発生状況）　：40ページ

省エネナビ機能（目標消費電力量達成状況）

現在までの消費電力量が目標を達成できているか確認します。
「消費電力量目標」（47ページ）で設定した１ヶ月の目標消費電力量から日々の目標を算出し、現在までの消費電力量が目標を達成しているか確認します。実際の消費電力量と目標消費電力量から節電率（38ページ）を算出します。日々の省エネ（節電）にご活用ください。

> あらかじめ目標消費電力量を設定しておいてください。設定方法は「消費電力量目標を設定する」（47ページ）をご参照ください。
> 本日までの目標消費電力量は次のように算出されます。
> 　本日までの目標消費電力量＝（１ヶ月間の目標消費電力量÷１ヶ月の日数）×本日までの日数

目標消費電力量達成状況画面では目標消費電力量に対する実際の消費電力量が節電できているかを文章やイラストで表示します。また、月間の目標消費電力量に対する今日までの節電実績をグラフで表示します。

目標消費電力量達成状況画面

節電状況コメント
本日まで（今月）の節電状況と先月の節電状況のコメントを表示します。表示内容は「節電状況コメント表示内容」（３８ページ）をご参照ください。

太陽アイコン
目標節電率の達成状況を３段階のアイコンで表示します。

節電率が良い ⇔ ⇔ 節電率が悪い

節電実績のグラフ表示
１ヶ月の目標消費電力量に対する本日までの実績をグラフと数値で表示します。

目標　300kWh／月
実績　227kWh

目標
１ヶ月の目標消費電力量に対する本日までの目標をグラフと数値で表示します。
実績
実際の本日までの消費電力量を表示します。
本日までの目標消費電力量をグレーで表示し、超過分を赤色、節電分を青色で表示します。

この画面を表示中に操作ボタンを押すと次のようにはたらきます。

戻る　を押すとお知らせ選択画面（３６ページ）に戻ります。

画面表示 本日の実績　を押すと通常画面に戻ります。

節電状況コメント表示内容

目標消費電力量達成状況画面に表示される節電状況コメントの内容は次のとおりです。
本日までの節電状況コメント、先月の節電状況コメントを表示します。また、本日までの節電状況を太陽アイコンで表示します。

今月の節電状況コメント

表示される内容	表示の意味
X日分の目標消費電力量に対して X.X% 節電できています	本日までの消費電力量が目標消費電力量よりも少なかったときは節電率（数値部分）を青色で表示します。
X日分の目標消費電力量に対して X.X% 使いすぎています	本日までの消費電力量が目標消費電力量よりも多かったときは節電率（数値部分）を赤色で表示します。また、消費電力量が極端に多かったとき（目標値の10倍以上のとき）は「X.X%」部分に「大幅に」と赤色で表示します。

先月の節電状況コメント

表示される内容	表示の意味
先月は1ヶ月間で X.X%節電できました	先月の消費電力量が目標消費電力量よりも少なかったときは節電率（数値部分）を青色で表示します。
先月は1ヶ月間で X.X%使いすぎでした	先月の消費電力量が目標消費電力量よりも多かったときは節電率（数値部分）を赤色で表示します。また、消費電力量が極端に多かったとき（目標値の10倍以上のとき）は「X.X%」部分に「大幅に」と赤色で表示します。

メモ

消費電力量目標値を変更すると先月分の節電率も再計算して変更します。

太陽アイコン表示

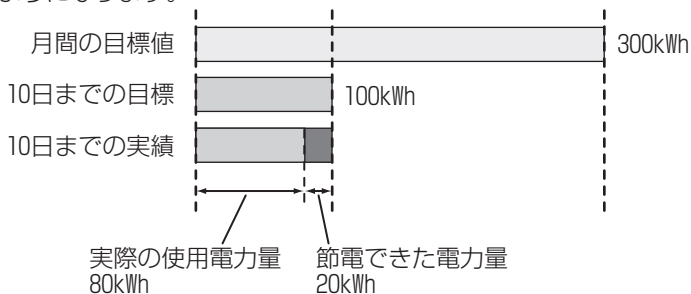
太陽アイコン	表示の意味
	本日までの消費電力量が目標消費電力量よりも少なかったとき（90%以下のとき）に表示します。
	本日までの消費電力量が目標消費電力量に近い値のとき（90%～110%のとき）に表示します。
	本日までの消費電力量が目標消費電力量よりも多かったとき（110%以上のとき）に表示します。

節電率について

目標消費電力量に対して節電できた電力量の割合です。

節電率の算出例

例えば、月間目標を300kWhと設定している月で、10日までの消費電力量（実績）が80kWhだった場合、節電率は次のようになります。

月間の目標値　300kWh
10日までの目標　100kWh
10日までの実績
実際の使用電力量　80kWh
節電できた電力量　20kWh

この場合の節電率は…

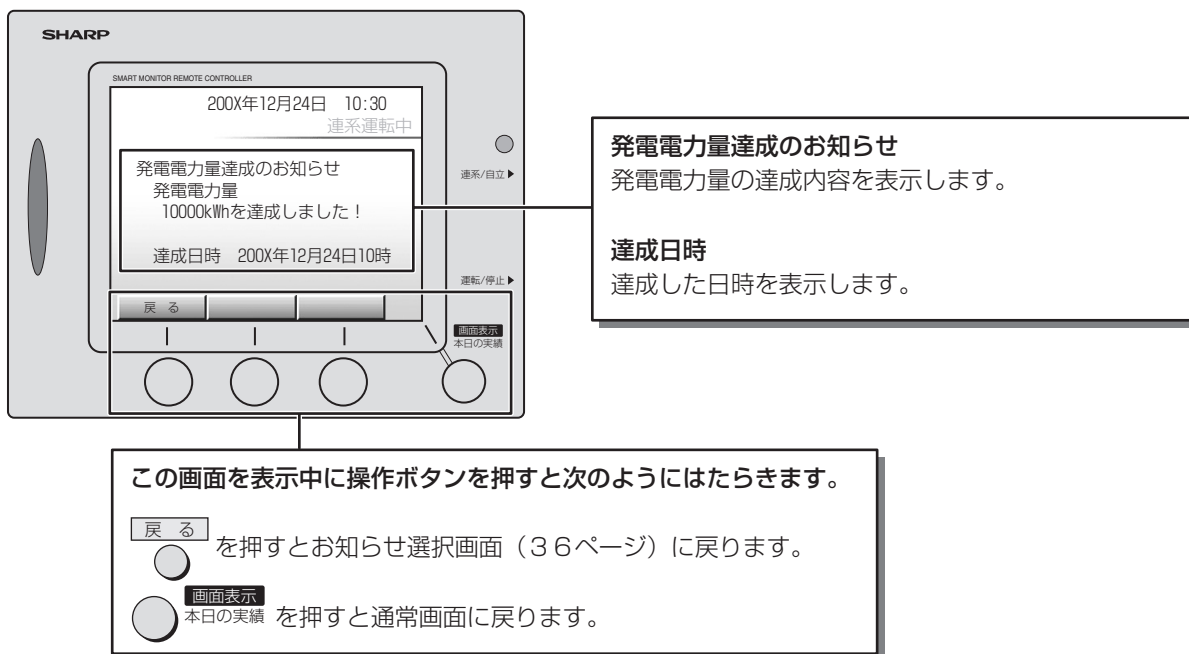
$$\frac{\text{20kWh（10日までに節電できた電力量）}}{\text{100kWh（10日までの目標電力量）}}$$

＝　20%（10日までの節電率）

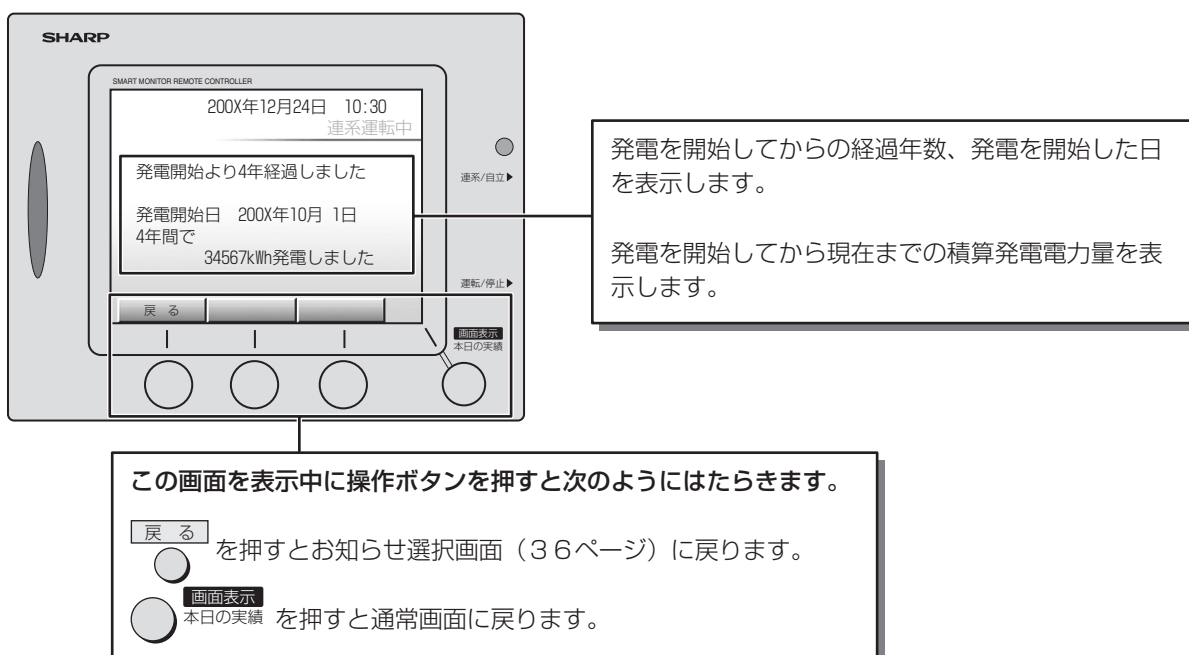
お知らせ機能を使用する
お知らせ機能

発電電力量達成

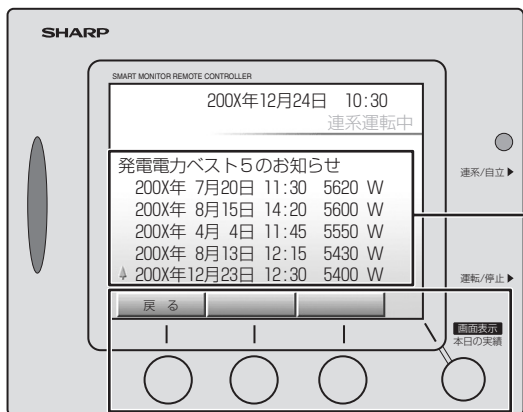
発電を開始してからの発電電力量が、一定の積算発電電力量になったときに達成内容を更新してお知らせします。例えば、発電を開始してからの積算発電電力量が10000kWhを達成したときなどにお知らせします。

発電電力量達成画面

発電開始記念日

発電を開始した日を記念日としてお知らせします。経過年数、開始日、現在までの積算発電量を表示します。

発電開始記念日画面

最大発電電力ベスト５

過去に発電した電力が大きかったときを上位５位まで記録しています。1日のうちでもっとも発電電力が大きかったときの日付・時刻・発電電力を記録し、上位５位までの記録が更新されたときにお知らせします。

最大発電電力ベスト５画面

この画面を表示中に操作ボタンを押すと次のようにはたらきます。

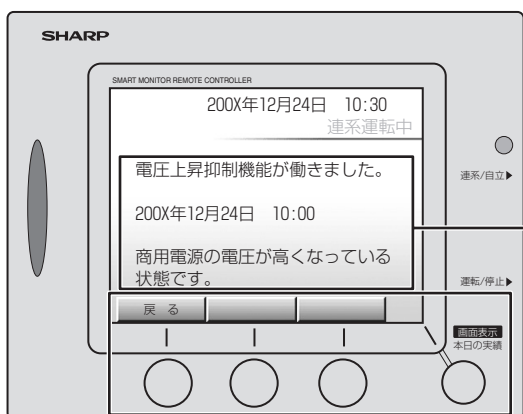
戻る を押すとお知らせ選択画面（３６ページ）に戻ります。

画面表示 本日の実績 を押すと通常画面に戻ります。

電圧上昇抑制発生状況

パワーコンディショナで電圧上昇抑制機能がはたらくと、その日時を記録します。新たに電圧上昇抑制機能がはたらいて最新の日時が更新されたときにお知らせします。

電圧上昇抑制機能については「電圧上昇抑制機能」（50ページ）をご参照ください。

電圧上昇抑制発生お知らせ画面

この画面を表示中に操作ボタンを押すと次のようにはたらきます。

戻る を押すとお知らせ選択画面（３６ページ）に戻ります。

画面表示 本日の実績 を押すと通常画面に戻ります。

各種設定を行う

カラー電力モニタを使用するために必要な設定を行います。日付・時刻については、最初に設定します。
各種設定操作を行うときは、「設定項目を表示する」（42ページ）の操作を行ってから各設定操作を行います。

設定できる項目について

まず、日付・時刻が設定されていることを確認してください。
日付・時刻が設定されていないと、「電気料金換算」「消費電力量目標」「表示の濃淡」が設定できません。

日付・時刻（43ページ）

カラー電力モニタの時計を設定します。（最初に正しい日付・時刻に設定します。）

電気料金換算（45ページ）

お使いの電力会社の電気料金（基本料金、買い電力料金、売り電力料金）を設定します。
時間帯別や従量別の設定はできません。
電気料金換算時（33ページ）に使います。
初期値として0円/kWhに設定されています。

消費電力量目標（47ページ）

ご家庭の1ヶ月間の消費電力量目標値を設定します。
「省エネナビ機能」（37ページ）での目標値になります。
初期値は、「前月の消費」に設定されています。

表示の濃淡（49ページ）

ディスプレイの表示濃度を設定します。

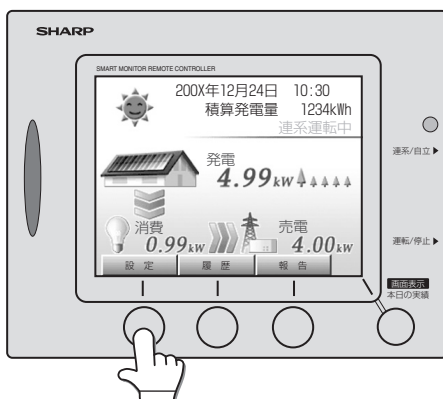
通信（モデム）（61ページ）（モニタリングサービス加入の方のみ）

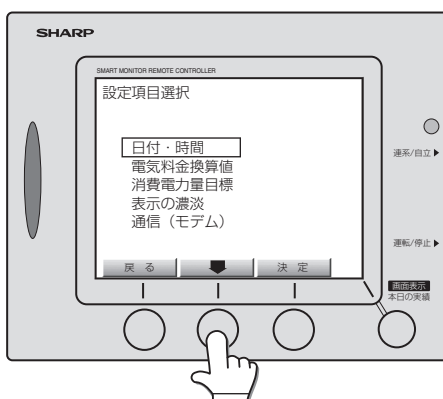
モニタリングサービスに加入されている方で、オペレーションセンターからの電話連絡に基づき、手動操作で通信を行う必要がある場合に使用する機能です。
「アフターサービス」（61ページ）をご参照ください。

設定項目を表示する

各設定項目の入力や設定画面を表示する操作です。
この操作を行ってから各項目の設定画面の操作を行います。

ディスプレイの表示が消えているときは、画面表示 本日の実績 を押してディスプレイの表示をつけてから操作してください。（13ページ）

1 **通常画面から 設定 を押します。**

2 **▼ を押して設定したい項目を選びます。**

設定したい項目に □ を移動させます。

3 **決定 を押します。**

4 **選んだ設定項目の画面を表示します。**

以降は各設定の操作手順を行います。

各設定の操作については以下のページをご参照ください。

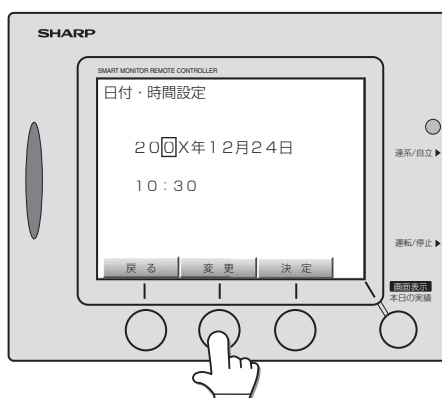
日付・時間　　　：43ページ
電気料金換算値：45ページ
消費電力量目標：47ページ
表示の濃淡　　　：49ページ
通信（モデム）：61ページ

日付・時刻を設定する

内蔵されている時計の日付と時刻を設定します。

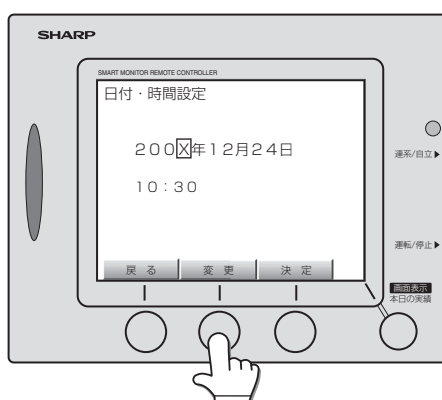
ご注意

日付・時刻の設定では、過去の日時に設定してしまうと設定した日時より新しいデータが消去されます。例えば、「2005年1月10日」を「2004年1月10日」と設定してしまうと、設定した「2004年1月10日」以降の日時で記録されていたデータが全て消去されます。
日付・時刻を設定する際は十分ご注意ください。

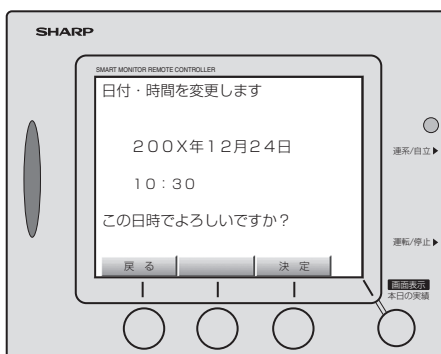
1 「設定項目を表示する」操作で「日付・時刻」の設定項目画面を表示します。

途中で操作を止めるときは、画面表示/本日の実績を押します。
設定を中止して通常画面に戻ります。このとき、変更は反映されません。

2 数字を変更します。

□内の数字を変更します。
□内の数字がそのままでいいときは、決定を押して先に進みます。
数字を変更するときは、次の操作①～②を繰り返し操作します。
年→月→日→時→分と数字を変更していきます。
最後に分を変更し決定を押して、手順3へ進みます。

①変更を押して□内の数字を変更します。
変更を繰り返し押して、入力する数字を表示させます。

②［決定］を押して数字を決定します。
数字を決定すると、次の数字へ［　　］が移動します。

3 変更内容を確認します。

変更内容の確認画面を表示します。

4 ［決定］を押します。

表示内容が反映され、時計を設定します。

メモ

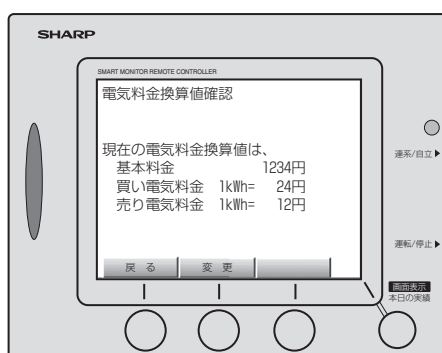
内容を修正するときは
①［戻る］を押します。
②手順2の操作を行い正しい数字を入力します。

電気料金換算値を設定する

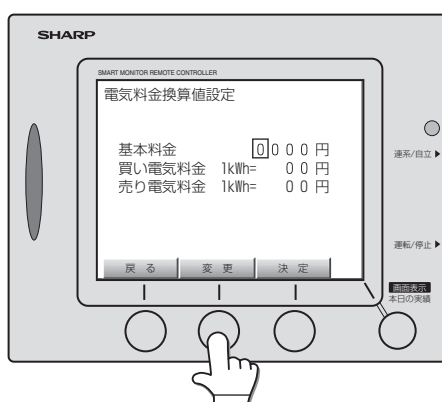
発電電力量などを電気料金換算するための電気料金換算値を設定します。
電力会社の基本料金、買い電気料金、売り電気料金を入力して1kWhの電気料金換算値を設定しておきます。
電気料金が変更になったときは、電気料金換算値を変更してください。
初期値は、0円/kWhに設定されています。

- 途中で操作を止めるときは、（画面表示／本日の実績）を押します。
  設定を中止して通常画面に戻ります。このとき、変更は反映されません。
- 電気料金の変更などで電気料金換算値を変更すると、過去の換算値も再計算して変更します。電気料金換算値を変更する前に過去の換算値の控えをとることをお勧めします。

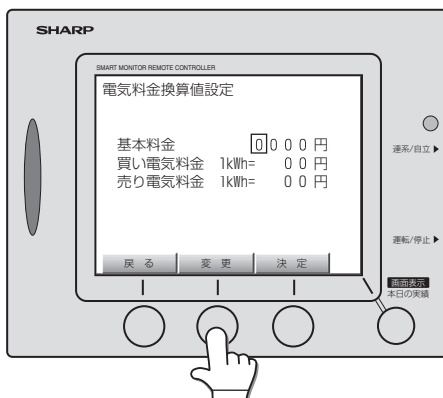
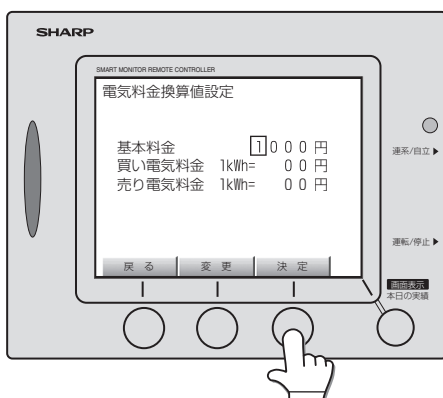
1 **「設定項目を表示する」操作で「電気料金換算値」の設定項目画面を表示します。**

電気料金換算値確認画面を表示します。

現在の内容でよければ（戻る）を押します。
設定項目選択画面（42ページ）に戻ります。

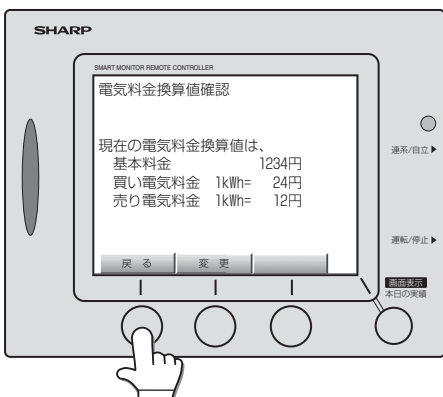
2 **（変更）を押します。**

電気料金換算値設定画面を表示します。

3 **数字を変更します。**

［　　］内の数字を変更します。
［　　］内の数字がそのままでいいときは、（決定）を押して先に進みます。
数字を変更するときは、次の操作①～②を繰り返し操作します。
「基本料金」→「買い電気料金」→「売り電気料金」と数字を変更していきます。
最後に「売り電気料金」を変更し（決定）を押して、手順４へ進みます。

①〔変 更〕を押して［　　］内の数字を変更します。
〔変 更〕を繰り返し押して、入力する数字を表示させます。

②〔決 定〕を押して数字を決定します。
数字を決定すると、次の数字へ［　　］が移動します。

4 変更内容を確認します。

変更内容の確認画面を表示します。

メモ

内容を修正するときは
①〔変 更〕を押します。
②手順３の操作を行い正しい数字を入力します。

5 〔戻 る〕を押します。

設定項目選択画面（42ページ）に戻ります。

消費電力量目標を設定する

ご家庭の1ヶ月間の消費電力量目標値を設定します。
ここで設定した消費電力量目標値は「省エネナビ機能」（37ページ）の目標値になります。
消費電力量目標は、「前月の消費」、「前年同月の消費」、「数値設定」から選びます。
初期値は「前月の消費」に設定されています。

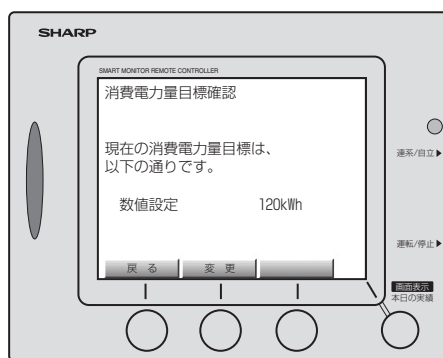
前月の消費　　：前の月の消費電力量が目標値になります。
前年同月の消費：昨年の同じ月の消費電力量が目標値になります。
数値設定　　　：任意の目標値を設定します。

メモ

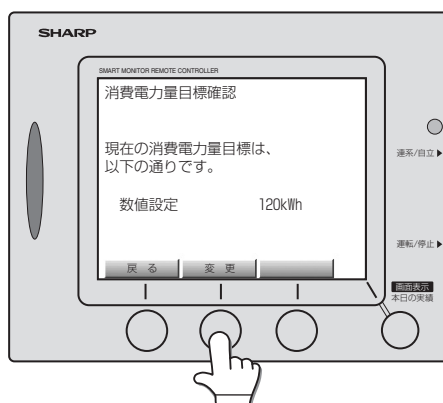
- 途中で操作を止めるときは、〇 画面表示 本日の実績 を押します。
  設定を中止して通常画面に戻ります。このとき、変更は反映されません。
- 消費電力量目標値を変更すると先月分の節電率も再計算して変更します。
- 「前年同月」の目標値は発電開始から1年以内では設定できません。

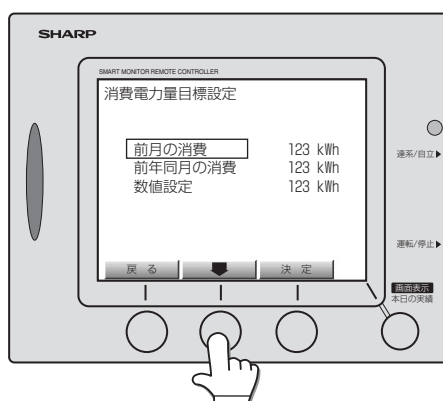
1 「設定項目を表示する」操作で「消費電力量目標」の設定項目画面を表示します。

確認画面を表示します。

メモ

現在の内容でよければ 戻る を押します。
設定項目選択画面（42ページ）に戻ります。

2 変更 を押します。

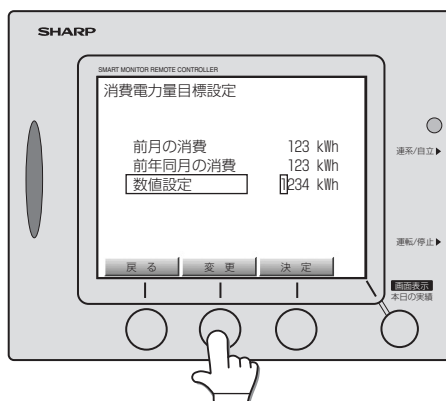
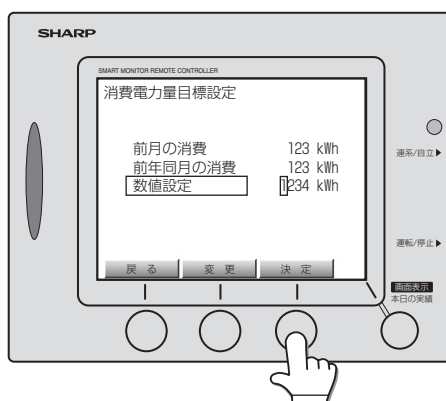
設定画面を表示します。

3 ▼ を押して設定したい項目を選びます。

設定したい項目に □ を移動させます。

4 決定 を押します。

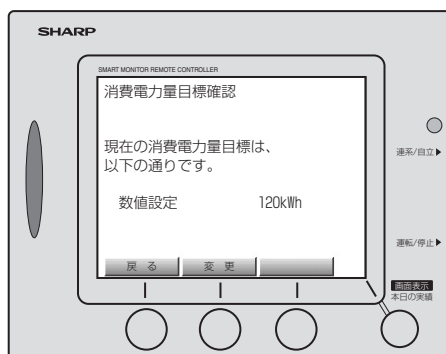
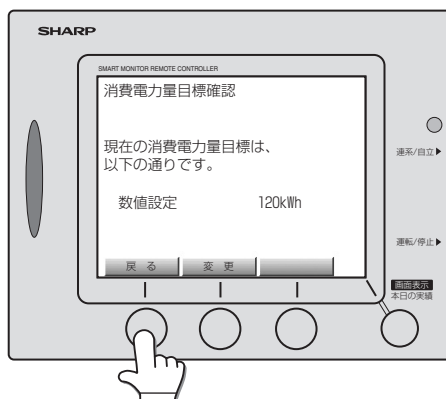
「前月の消費」、「前年同月の消費」を選んだ場合、消費電力量目標が設定され手順1に戻ります。「数値設定」を選んだ場合、手順5へ進みます。

5 数字を変更します。

［　　］内の数字を変更します。
［　　］内の数字がそのままでいいときは、決定を押して次の数字に進みます。
数字を変更するときは、次の①～②を繰り返し操作します。
最後の数字を変更し決定を押すと、手順6へ進みます。

①変更を押して［　　］内の数字を変更します。
変更を繰り返し押して、入力する数字を表示させます。

②決定を押して数字を決定します。
数字を決定すると、次の数字へ［　　］が移動します。

6 変更内容を確認します。

変更内容の確認画面を表示します。

メモ

内容を修正するときは
①変更を押します。
②手順5の操作を行い正しい数字を入力します。

7 戻るを押します。

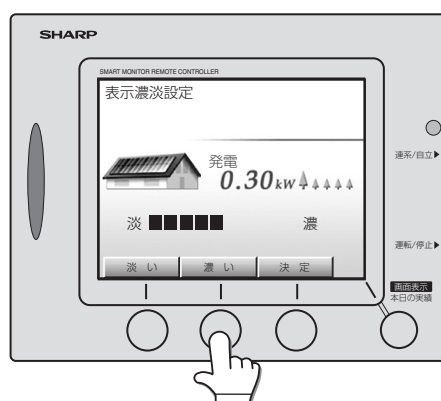
設定項目選択画面（42ページ）に戻ります。

表示の濃淡を調整する

画面表示の濃淡を10段階で設定します。

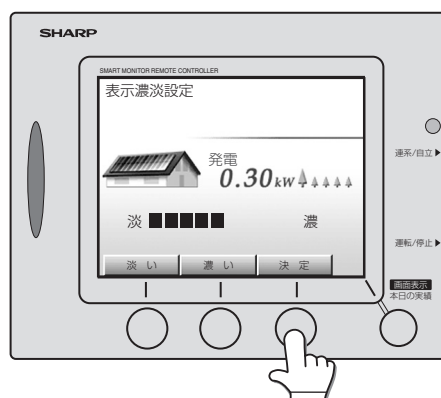
1 「設定項目を表示する」操作で「表示の濃淡」の設定項目画面を表示します。

2 淡い または 濃い を押して表示濃度を設定します。

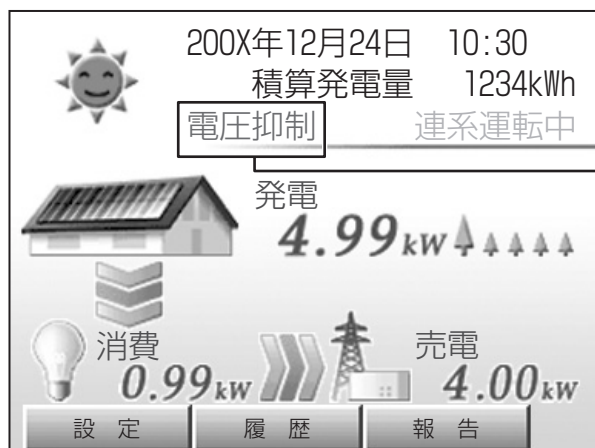
表示濃度は画面に表示されている■の数で設定します。
淡い を押すと■の数が減って表示濃度が淡く（薄く）なります。
濃い を押すと■の数が増えて表示濃度が濃くなります。

3 決定 を押します。

設定した内容が反映されて通常画面に戻ります。

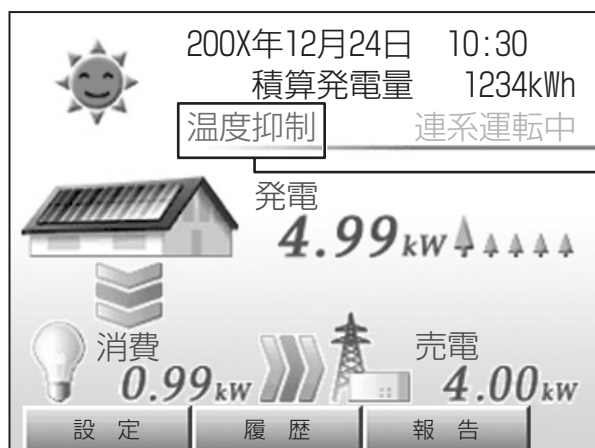
メモ

現在の内容でよければ 決定 を押します。
設定項目選択画面（42ページ）に戻ります。

抑制状態表示について

電圧上昇抑制機能

運転中に電力会社から供給されている電気の電圧が高くなった場合に、パワーコンディショナの出力を一時的に抑えている状態です。

温度上昇抑制機能

パワーコンディショナ内部の温度が高くなった場合に、パワーコンディショナの出力を一時的に抑えている状態です。

メモ

この表示が頻繁に表示される場合は、修理ご相談窓口（60ページ）にご連絡ください。

●電圧上昇とは

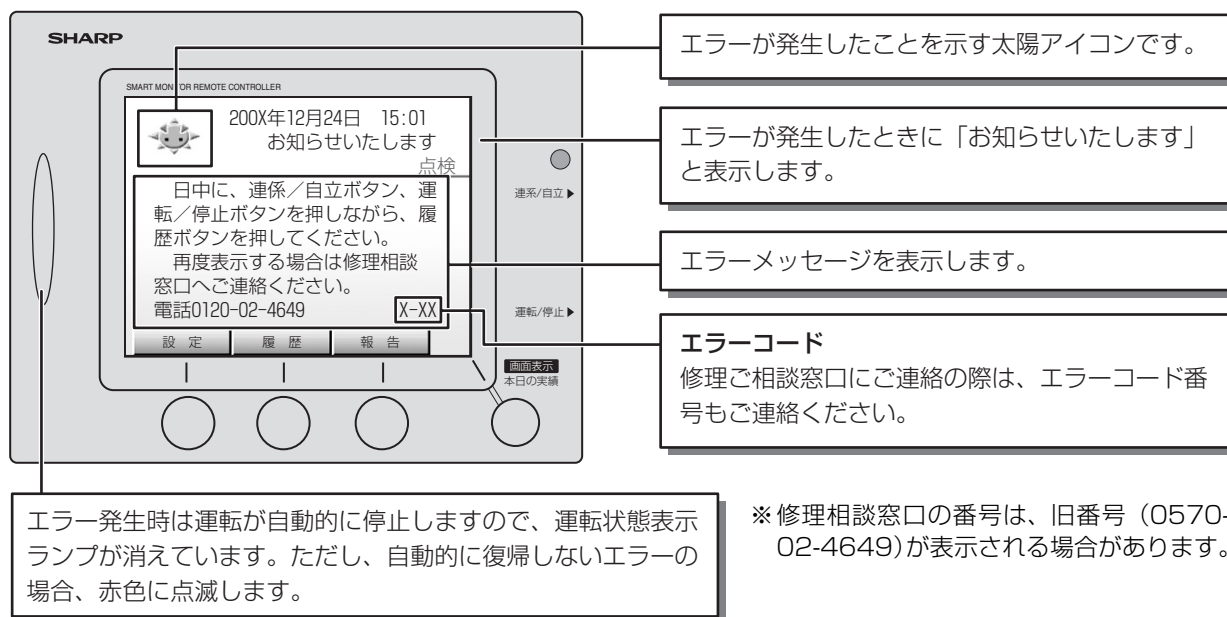
朝夕食時など、多くの家庭が一斉に水道の水を使うと水圧が下がり水の流れが弱くなるように、電力会社から供給されている電気も、多くの家庭が一斉に電気を使うと電力会社で規定された範囲内で電圧が低くなったり、逆に電気の使用量が減ると電圧が高くなったりすることがあります。
一方、水が水位の高い所から低い所に流れるように、電気も電圧の高い所から低い所に流れるため、電力会社へ売電する場合、パワーコンディショナの出力電圧は電力会社側の電圧よりも高くなります。
このことから、電力会社側の電圧が高くなったときに売電する場合は、パワーコンディショナの出力電圧もさらに高くなります。
このような様々な要因が重なりパワーコンディショナの出力電圧が高くなりすぎると、ご家庭内の電気機器の破損、寿命低下を引き起こす恐れがあるため、パワーコンディショナは出力電圧を監視し設定電圧値以上高くならないように出力を一時的に抑制する保護機能を備えています (電圧上昇抑制機能)。
電圧上昇抑制機能を動作させる設定電圧値は予め連系協議の際に電力会社が決定しています。

停電など太陽光発電システムに異常や不具合などがあったときは、ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。
メッセージは主にエラーの内容や対処方法を表示しています。

エラー表示

太陽光発電システムでエラーが発生したときは、ディスプレイにエラーメッセージを表示します。

エラー発生時のディスプレイの表示

※修理相談窓口の番号は、旧番号（0570-02-4649）が表示される場合があります。

エラー発生により修理相談窓口にご連絡いただく際には、エラーメッセージの最後に表示されるエラーコード（アルファベットと2桁の数字）をご確認の上、ご連絡ください。

エラーメッセージ一覧

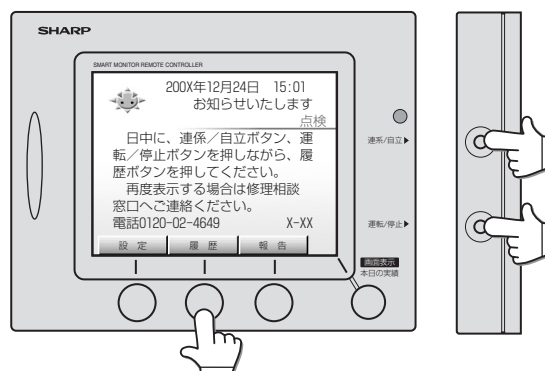
メッセージ	意味、対処のしかた
停電中です。しばらくお待ちください。 停電ではないのに10分以上この表示が消えない場合は、修理相談窓口へご連絡下さい。 電話 0120-02-4649　X-XX	停電が回復してから約5分で自動的に運転を再開します。そのままの状態でお待ちください。 停電では無いのに約10分以上表示が変わらない場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡ください。(60ページ)
10秒間お待ちください。 自動復帰します。 X-XX	しばらく（約10秒間）そのままの状態でお待ちください。 自動的に運転を再開します。
日射不足です。 しばらくお待ちください。 X-XX	曇や雨など天候の変化で太陽の光が不足しています。天候が回復し太陽の光が十分に戻るまでお待ちください。
外気温の低下に伴い太陽電池の出力電圧が高くなっています。 しばらくお待ちください。 外気温上昇後も復帰しない場合は修理相談窓口へご連絡下さい。 電話0120-02-4649　X-XX	外気温が上昇するまで、しばらくお待ちください。 外気温が上昇してしばらくしてもこの表示が消えないときや、たびたび表示される場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡ください。(60ページ)
修理相談窓口へご連絡下さい。 電話0120-02-4649 X-XX	エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡ください。(60ページ)
パワーコンディショナの温度が高くなっています。周囲に物が置かれていないか、ご確認ください。表示が消えない場合は修理相談窓口へご連絡ください。 電話 0120-02-4649　X-XX	パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認してください。 それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口（60ページ）にご相談ください。
自立運転専用コンセントに接続された機器の消費電力が大きすぎます。 接続されている機器を減らしてください。 X-XX	自立運転で使用できる電力量より消費電力が大きくなっています。 使用している機器を減らして消費電力を下げてください。
日中に連系/自立ボタン、運転/停止ボタンを押しながら、履歴ボタンを押してください。 再度表示する場合は修理相談窓口へご連絡ください。 電話 0120-02-4649　X-XX	パワーコンディショナを再起動してください。(下記) それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡ください。(60ページ)
センサーと通信できません。 停電でなければ修理相談窓口へご連絡ください。 電話 0120-02-4649　X-XX	停電の場合、回復するまでお待ちください。 停電でない場合、エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡ください。(60ページ)
センターとの通信が行えません。 モデム接続を確認し取扱説明書に示す送信操作を行ってください。 表示が消えない場合は修理相談窓口へご連絡ください。 電話 0120-02-4649　X-XX	モニタリングサービスに加入の方のみ モニタリングサービスで必要な、センターとの通信に失敗しました。 カラー電力モニタとモデム、モデムとお客様の通信設備が接続されていることを確認し、カラー電力モニタからの手動通信を行ってください。(61ページ)

パワーコンディショナを再起動する

エラーなどが発生しパワーコンディショナの再起動が必要な場合、再起動の操作方法がディスプレイに表示されます。カラー電力モニタの操作でパワーコンディショナを再起動します。
パワーコンディショナの再起動は、太陽光発電が行われているとき（日中）のみ行うことができます。

1：連系/自立〇、運転/停止〇と履歴〇を同時に2秒以上押します。

2：運転/停止〇を押します。

しばらくするとパワーコンディショナの運転を開始します。

※修理相談窓口の番号は、旧番号（0570-02-4649）が表示される場合があります。

エラーコード一覧

エラーメッセージの最後に表示されるアルファベットと２桁の数字はエラーコードです。
修理ご相談窓口にご連絡の際は、エラーコードもご連絡下さい。

「d-XX」という表示の場合

パワーコンディショナに異常を検出しました。安全のため、パワーコンディショナの運転を停止しています。

<table>
<tr><th>エラーコード</th><th>エラーコードの意味</th><th>対処のしかた</th></tr>
<tr><td>d-19</td><td>パワーコンディショナの出力回路部分に異常が発生し、回路を保護するため出力ヒューズが切れた可能性があります。（連系運転時に検知）</td><td rowspan="14">パワーコンディショナを再起動してください。（52ページ）
それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡ください。（60ページ）</td></tr>
<tr><td>d-20</td><td>パワーコンディショナ内部の温度が上昇し、回路を保護するため温度ヒューズが切れた可能性があります。（連系運転時に検知）</td></tr>
<tr><td>d-21</td><td>パワーコンディショナの出力側に過電流が流れた可能性があります。（連系運転時に検知）</td></tr>
<tr><td>d-22</td><td>パワーコンディショナの出力電流波形に異常を検出しました。（連系運転時に検知）
商用電源の電圧が一時的に不安定になった可能性があります。</td></tr>
<tr><td>d-23</td><td>パワーコンディショナ内部にある出力回路部品の温度が上昇しています。（連系運転時に検知）</td></tr>
<tr><td>d-25</td><td>パワーコンディショナ内部にあるスイッチング素子に異常がおきた可能性があります。（連系運転時に検知）</td></tr>
<tr><td>d-26</td><td>パワーコンディショナ内部にある入力回路部品の温度が上昇しています。（連系運転時に検知）</td></tr>
<tr><td>d-27</td><td>パワーコンディショナの出力回路に異常がおきた可能性があります。（連系運転時に検知）</td></tr>
<tr><td>d-29</td><td>パワーコンディショナ内部にある冷却ファンに異常がおきた可能性があります。（連系運転時に検知）</td></tr>
<tr><td>d-30</td><td>パワーコンディショナ内部の温度が上昇し、回路を保護するため温度ヒューズが切れた可能性があります。（自立運転時に検知）</td></tr>
<tr><td>d-33</td><td>パワーコンディショナ内部にある出力回路部品の温度が上昇しています。（自立運転時に検知）</td></tr>
<tr><td>d-35</td><td>パワーコンディショナ内部にあるスイッチング素子に異常がおきた可能性があります。（自立運転時に検知）</td></tr>
<tr><td>d-36</td><td>パワーコンディショナ内部にある入力回路部品の温度が上昇しています。（自立運転時に検知）</td></tr>
<tr><td>d-39</td><td>パワーコンディショナ内部にある冷却ファンに異常がおきた可能性があります。（自立運転時に検知）</td></tr>
<tr><td>d-40</td><td>パワーコンディショナの内部メモリに異常が発見されました。</td><td>エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡ください。（60ページ）</td></tr>
<tr><td>d-1</td><td rowspan="4">パワーコンディショナの一部の入力に電力が供給されておりません。パワーコンディショナの入力回路か太陽電池に異常がおきた可能性があります。</td><td rowspan="4">太陽電池の一部に雪が積もっている場合は、そのままパワーコンディショナを再起動してください。雪が積もっていない場合は修理ご相談窓口にご連絡ください。（60ページ）</td></tr>
<tr><td>d-2</td></tr>
<tr><td>d-3</td></tr>
<tr><td>d-5</td></tr>
</table>

「E-XX」という表示の場合

パワーコンディショナの運転が一時的に不安定になりました。安全のため、パワーコンディショナの運転を一時的に停止しています。

<table>
<tr><th>エラーコード</th><th>エラーコードの意味</th><th>対処のしかた</th></tr>
<tr><td>E-21</td><td>パワーコンディショナの出力側に過電流が流れた可能性があります。（連系運転時に検知）</td><td rowspan="2">しばらく（10秒間）そのままの状態でお待ちください。
自動的に運転を再開します。</td></tr>
<tr><td>E-22</td><td>パワーコンディショナの出力電流波形に異常を検出しました。（連系運転時に検知）
商用電源の電圧が一時的に不安定になった可能性があります。</td></tr>
<tr><td>E-23</td><td>パワーコンディショナ内部にある出力回路部品の温度が上昇しています。（連系運転時に検知）</td><td>パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認してください。
それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口へご連絡ください。（60ページ）</td></tr>
<tr><td>E-25</td><td>パワーコンディショナ内部にあるスイッチング素子に異常がおきた可能性があります。（連系運転時に検知）</td><td>しばらく（10秒間）そのままの状態でお待ちください。
自動的に運転を再開します。</td></tr>
<tr><td>E-26</td><td>パワーコンディショナ内部にある入力回路部品の温度が上昇しています。（連系運転時に検知）</td><td>パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認してください。
それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口へご連絡ください。（60ページ）</td></tr>
<tr><td>E-27</td><td>パワーコンディショナの出力回路に異常がおきた可能性があります。（連系運転時に検知）</td><td rowspan="4">しばらく（10秒間）そのままの状態でお待ちください。
自動的に運転を再開します。</td></tr>
<tr><td>E-28</td><td>パワーコンディショナの内部電圧に異常がおきた可能性があります。（連系運転時に検知）</td></tr>
<tr><td>E-29</td><td>パワーコンディショナ内部にある冷却ファンに異常がおきた可能性があります。（連系運転時に検知）</td></tr>
<tr><td>E-31</td><td>自立運転用コンセントに接続された機器が瞬間的に大きな電流を消費しました。（自立運転時に検知）</td></tr>
<tr><td>E-32</td><td>自立運転用コンセントに接続された機器の消費電力が大きすぎます。接続機器を減らしてください。（自立運転時に検知）</td><td>自立運転用コンセントに接続された機器を減らしてください。</td></tr>
<tr><td>E-33</td><td>パワーコンディショナ内部にある出力回路部品の温度が上昇しています。（自立運転時に検知）</td><td>パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認してください。
それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口へご連絡ください。（60ページ）</td></tr>
<tr><td>E-35</td><td>パワーコンディショナ内部にあるスイッチング素子に異常がおきた可能性があります。（自立運転時に検知）</td><td>しばらく（10秒間）そのままの状態でお待ちください。
自動的に運転を再開します。</td></tr>
<tr><td>E-36</td><td>パワーコンディショナ内部にある入力回路部品の温度が上昇しています。（自立運転時に検知）</td><td>パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認してください。
それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口へご連絡ください。（60ページ）</td></tr>
<tr><td>E-37</td><td>自立運転用コンセントに接続された機器の消費電力が大きすぎます。接続機器を減らしてください。（自立運転時に検知）</td><td>自立運転用コンセントに接続された機器を減らしてください。</td></tr>
<tr><td>E-38</td><td>パワーコンディショナの内部電圧に異常がおきた可能性があります。（自立運転時に検知）</td><td rowspan="2">しばらく（10秒間）そのままの状態でお待ちください。
自動的に運転を再開します。</td></tr>
<tr><td>E-39</td><td>パワーコンディショナ内部にある冷却ファンに異常がおきた可能性があります。（自立運転時に検知）</td></tr>
</table>

「F-XX」という表示の場合

停電など商用電源の異常のため、パワーコンディショナの運転を停止しました。
停電時には、太陽光発電システムで発電した電力を商用電源に売る（連系運転）ことができません。
そのため、パワーコンディショナが自動停止し、電源復帰を待っています。
自立運転を開始すると、太陽光発電システムで発電した電力を自立運転用コンセントで使用することができます。
自立運転を開始する場合は、自立運転を開始する（20ページ）を参照してください。
停電ではないのに10分以上この表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口へご連絡下さい。（60ページ）

エラーコード	エラーコードの意味	対処のしかた
F-00	商用電源の電圧が上昇しています。	商用電源の異常が回復してから約5分で自動的に運転を再開します。そのままの状態でお待ち下さい。 停電ではないのに約10分以上表示が変わらない場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡下さい。（60ページ）
F-01	商用電源の電圧が低下しています。	
F-02	商用電源の周波数が上昇しています。	
F-03	商用電源の周波数が低下しています。	
F-04	商用電源の電圧が高くなっています。	
F-05	商用電源の停電を検出しました。（電源電圧の位相変動を検出）	
F-06	商用電源の停電を検出しました。（周波数シフト方式による出力周波数低下を検出）	
F-07	商用電源の停電を検出しました。（周波数シフト方式による出力周波数上昇を検出）	
F-08	商用電源が停電、もしくは商用電源の周波数が大幅に低くなっています。	
F-09	商用電源が停電、もしくは商用電源の周波数が大幅に高くなっています。	

「P-XX」という表示の場合

太陽電池パネルの出力電圧が規定値を超えたため、パワーコンディショナの運転を停止しました。

エラーコード	エラーコードの意味	対処のしかた
P-11	外気温が低下したため、太陽電池モジュールの出力電圧が高くなっています。（連系運転時に検知）	外気温が上昇するまで、しばらくお待ちください。外気温が上昇してしばらくしてもこの表示が消えないときや、たびたび表示される場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡下さい。（60ページ）
P-13	外気温が低下したため、太陽電池モジュールの出力電圧が高くなっています。（自立運転時に検知）	

「R-XX」という表示の場合

カラー電力モニタの内部処理に異常を検出しました。

エラーコード	エラーコードの意味	対処のしかた
R-00	データを保存する際に、異常を検出しました。	エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡ください。（60ページ）
R-01	データを消去する際に、異常を検出しました。	
R-02	時刻データに異常を検出しました。	
R-03	割り込み信号に異常を検出しました。	
R-04	通信データに異常を検出しました。	

「S-XX」という表示の場合

売買電力量を測定してカラー電力モニタに送信する売買センサーと、カラー電力モニタの通信に異常があります。

エラーコード	エラーコードの意味	対処のしかた
S-00	売買センサーとカラー電力モニタの通信ができません。停電でなければ、修理ご相談窓口へご連絡下さい。	停電の場合は、回復するまでお待ち下さい。停電でない場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡ください。(60ページ)
S-01	売買センサーからの通信に異常があります。	エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡ください。(60ページ)

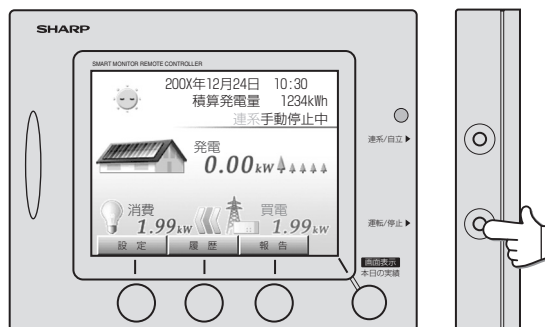
「C-XX」という表示の場合　モニタリングサービスに加入の方のみ

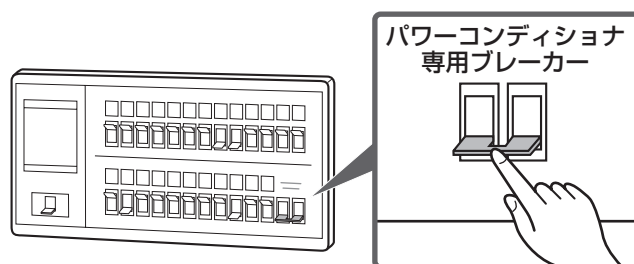
モニタリングサービスで必要な、センターとの通信に失敗しました。

エラーコード	エラーコードの意味	対処のしかた
C-00	通信時に、ダイヤルアップモデムが接続されていなかった可能性があります。	カラー電力モニタとモデム、モデムとお客様の通信設備が接続されていることを確認し、カラー電力モニタからの手動通信を行ってください。(61ページ)
C-01	通信時に、電話回線が使用中であった可能性があります。	
C-02	通信時に、センター側の受信に異常があった可能性があります。	

パワーコンディショナを緊急停止する

万一、パワーコンディショナから煙、異音、異臭などが発生したときは、以下の操作でパワーコンディショナを緊急停止し、お買い上げの販売店または修理相談センター（60ページ）にご連絡ください。

1 運転/停止◯**を押します。**

2 **分電盤の中にあるパワーコンディショナ専用ブレーカを「切」にします。**

ブレーカの位置を確認し正しいブレーカをお切りください。

3 **「お買いあげの販売店」または「修理相談センター」（60ページ）までご連絡ください。**

ディスプレイの表示が消えているときでも、運転/停止◯を押して運転を停止することができます。
運転/停止◯を押すと運転を中止して、ディスプレイの表示がつきます。

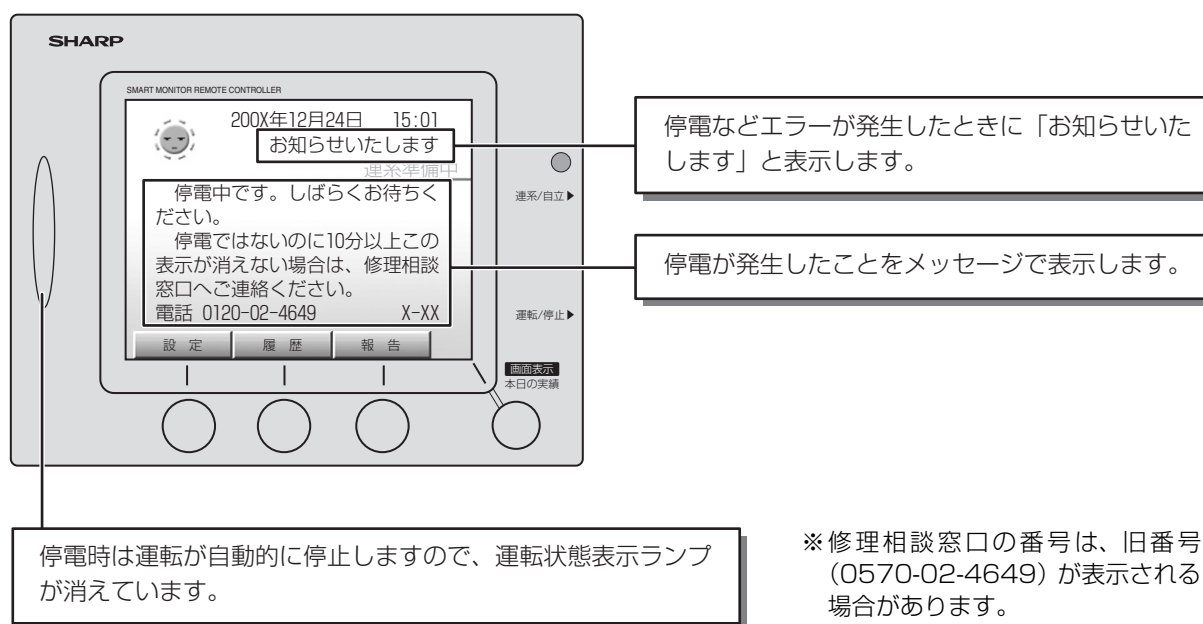
停電したときは

電力会社の停電などによって外部からの電力供給が無くなった場合、パワーコンディショナの運転は停止し、ディスプレイにエラーメッセージを表示します。（夜間を除く）
停電が回復後、しばらくすると自動的にパワーコンディショナの運転を開始します。

1：停電が発生したとき

停電が発生し電力会社から電気の供給が止まるとパワーコンディショナの運転を停止し、ディスプレイにエラーメッセージを表示して停電が発生したことをお知らせします。

停電時のディスプレイの表示

※修理相談窓口の番号は、旧番号（0570-02-4649）が表示される場合があります。

2：停電が回復すると

停電が回復し電気の供給が開始されると、自動的にパワーコンディショナの運転を開始します。

停電時に太陽光発電の電気を使用することができます。

停電中に自立運転モードに切り替えると太陽光発電で発電した電気を使用することができます。自立運転の注意事項をよくお読みになってご使用ください。（22ページ）
停電が回復したときは、連系運転モードに切り替えてください。（24ページ）

ご注意

自立運転しているときに停電が回復しても、自動的に連系運転モードに切り替わりません。連系運転モードに切り替えて通常運転に戻してください。
連系運転モードに切り替えるときは、自立運転用コンセントで使用している電気機器を止めてください。

お手入れのしかた

住宅用太陽光発電システムを長年ご使用いただくため、次の要領でお手入れをお願いします。
ただし、太陽電池モジュールは、屋根の上など高所に設置されることが多く、点検やお手入れは特に危険ですので、お買い上げの販売店までお申しつけください。なお、点検やお手入れに要する費用はお買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れの際のご注意

お手入れの際は、必ずカラー電力モニタの運転/停止ボタンを押し、パワーコンディショナの運転を止めてください。（16、21ページ）
連続運転のままでのお手入れは危険です。

日常のお手入れ（パワーコンディショナ本体通気口のほこり取り、表面の清掃）以外は、お買い上げの販売店に依頼してください。

汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。その後、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。液晶画面をふくときは、あまり強く押さえないでください。故障の原因になります。

点検

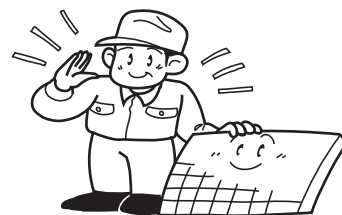
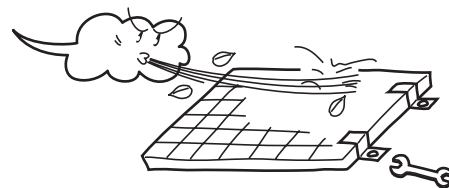
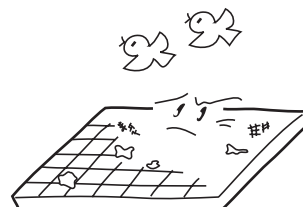
太陽電池モジュールのガラス表面の清掃

通常の汚れは、発電には問題ありませんが、鳥のふん、火山灰、油煙などがつき、ガラス表面が著しく汚れた場合は、発電効果が低下して、発電量が少なくなります。この場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

台風シーズンの前後に

台風シーズンの前後や、地震、強風の後は、架台などの固定ネジにゆるみや異常がないかお買い上げの販売店にご相談ください。

保守・メンテナンス

住宅用太陽光発電システムは、定期的な点検を行うことをおすすめします。メンテナンスの内容については、お買い上げの販売店にご相談ください。

お問い合わせは

修理・お取扱い・お手入れについての「ご相談」ならびに「ご依頼」および、万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
ＦＡＸ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。 ▶▶▶

シャープ　お問い合わせ

http://www.sharp.co.jp/support/

使用方法のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 48 - 4649

携帯電話・ＰＨＳからもご利用いただけます。

受付時間
●月曜～土曜：**９：００～１８：００**
●日曜・祝日：**９：００～１７：００**
（年末年始を除く）

■ＩＰ電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話	ファックス
06-6792-1582	06-6792-5993
〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

修理のご相談など

※「部品購入」をご希望の方は、枠外の〈補足①〉をご覧ください。

【修理相談センター】

0120 - 02 - 4649

携帯電話・ＰＨＳからもご利用いただけます。

受付時間
●月曜～土曜：**９：００～２０：００**
●日曜・祝日：**９：００～１７：００**
（年末年始を除く）

■ＩＰ電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

	電話	ファックス
東日本地区	043-299-3863	043-299-3865
西日本地区	06-6792-5511	06-6792-3221

補足① 部品購入のご相談は、下記地区別窓口でも承っております。

地区別窓口

■受付時間　＊月曜～土曜：**９：００～１７：４０**（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄地区〕は……＊月曜～金曜：**９：００～１７：４０**（祝日など弊社休日を除く）

北陸地区
- **金　沢** サービスセンター：076-249-2434
〒921-8801　石川郡野々市町御経塚4-103

近畿地区
- **京　都** サービスセンター：075-672-2378
〒601-8102　京都市南区上鳥羽菅田町48
- **大　阪** テクニカルセンター：06-6794-5611
〒547-8510　大阪市平野区加美南3-7-19
- **阪　神** サービスセンター：06-6422-0455
〒661-0981　兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10

中国地区
- **広　島** サービスセンター：082-874-8149
〒731-0113　広島市安佐南区西原2-13-4

四国地区
- **高　松** サービスセンター：087-823-4901
〒760-0065　高松市朝日町6-2-8

九州地区
- **福　岡** テクニカルセンター：092-572-4705
〒816-0081　福岡市博多区井相田2-12-1

沖縄地区
- **那　覇** サービスセンター：098-861-0866
〒900-0002　那覇市曙2-10-1

北海道地区
- **札　幌** サービスセンター：011-641-4685
〒063-0801　札幌市西区二十四軒1条7-3-17

東北地区
- **仙　台** サービスセンター：022-288-9142
〒984-0002　仙台市若林区卸町東3-1-27

関東地区
- **宇都宮** サービスセンター：028-637-1179
〒320-0833　宇都宮市不動前4-2-41
- **さいたま** サービスセンター：048-666-7987
〒331-0812　さいたま市北区宮原町2-107-2
- **東　京** テクニカルセンター：03-5692-7765
〒114-0013　東京都北区東田端2-13-17
- **多　摩** サービスセンター：042-586-6059
〒191-0003　日野市日野台5-5-4
- **千　葉** テクニカルセンター：047-368-9840
〒270-2231　松戸市稔台6-6-1
- **横　浜** テクニカルセンター：045-753-4647
〒235-0036　横浜市磯子区中原1-2-23

東海地区
- **静　岡** サービスセンター：054-344-5781
〒424-0067　静岡市清水鳥坂1170-1
- **名古屋** サービスセンター：052-332-2623
〒454-8721　名古屋市中川区山王3-5-5

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2009.7）

アフターサービスについて

補修用性能部品について

当社は、この住宅用太陽光発電システムの補修用性能部品を、製造打切後、10年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
なお、移設に要する費用は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときには

パワーコンディショナのカラー電力モニタ表示内容をご確認の上、分電盤内のパワーコンディショナ専用ブレーカーを「切」にし、運転を停止した後、お買い上げ販売店もしくは修理ご相談窓口（60ページ）に修理をお申しつけください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

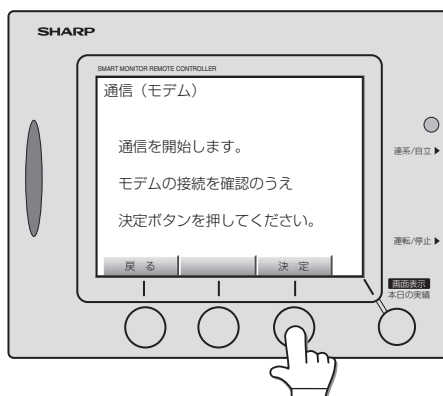
転居や廃棄されるときは

この住宅用太陽光発電システムをご転居などにより別の場所に移される場合、もしくは廃棄される場合は、有資格者による電気工事が必要で、また電力会社との協議が必要となる場合がありますので必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
なお、移設や廃棄に要する費用は、お買い上げの販売店にご相談ください。

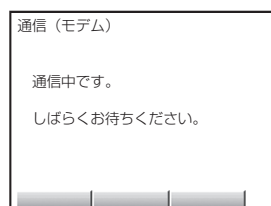
手動通信について（モニタリングサービスのみ）

モニタリングサービスに加入されている方で、シャープからの電話連絡に基づき、手動操作で通信を行う必要がある場合に使用する機能です。

1 「設定項目を表示する」操作で「通信（モデム）」の設定項目画面を表示します。

決定 を押して通信開始します。

メモ

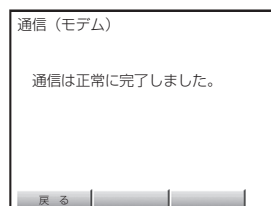
1～3の画面では、ボタン操作なく1分間が経過しても画面は消灯しません。

2 通信中。

メモ

通信中はボタン操作が無効になります。

3 通信結果を確認します。

4 戻る を押します。

設定項目選択画面（42ページ）に戻ります。

メモ

通信が正常完了しなかった場合は「通信は完了しませんでした」と表示します。オペレーションセンターからの指示にしたがってください。

保証書

製品の保証

●保証書は「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

●製造番号はアフターサービス上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

●保証期間
お買い上げの日から１年間です。
ただし、太陽電池モジュールの出力は、最大出力の下限値（最大出力の公称値の90%）の90%までを10 年間保証いたします。
例：ND-160AV の場合（放射照度1000W ／ m²、モジュール温度25℃で測定）

最大出力の公称値	160.0W
最大出力の下限値	144.0W
最大出力の下限値の90%	129.6W

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証書の記載内容により、お買い上げの販売店または当社サービス会社が修理いたします。
くわしくは保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の点があれば、お買い上げの販売店、またはもよりのお客様相談センター（60ページ）にお問い合わせください。

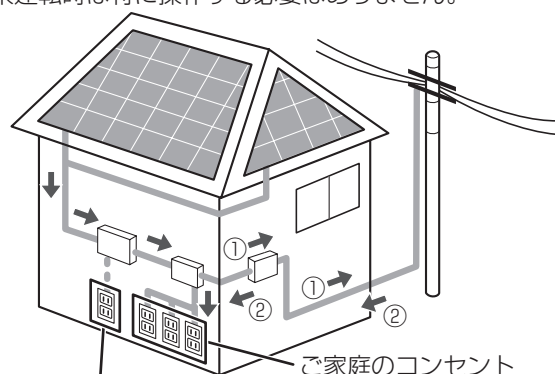
●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

用語集

用　　語	意　　味
CO_2削減量	電気使用によるCO_2の排出量は石油火力発電で約200g-C/kWｈ、太陽光発電※で約20g-C/kWhです。太陽光発電では、石油火力発電と比べて約180g-C/kWhのCO_2を削減出来ることになります。 このことから削減係数として「**0.18kg-C/kWｈ**」が求められます。 以上のことから、石油火力発電と比べた太陽光発電システムのCO_2削減量（kg-C/年）を求める計算式は、「**太陽電池の発電量（kWh/年）×削減係数（0.18kg-C/kWh）**」となります。 例えば、3kWシステムで年間発電量が3,000kWhだった場合の石油火力発電と比べたCO_2削減量は、「**3,000kWh（年間発電量）×0.18（削減係数）＝540kg-C/年**」と求められ、「**540kg-C/年**」のCO_2を削減できることになります。 ※ 太陽光発電のCO_2排出量（g-C/kWｈ）＝製造時のCO_2排出量÷20年間の累計の発電量
kW（キロワット）とkWh（キロワットアワー）	「電力（kW）と電力量（kWh）」（下記）を参照してください。
セル／モジュール／架台	セルとは、太陽電池の基本単位です。 セルを複数枚配列し、屋外で利用できるように強化ガラスで覆い、パッケージ化したものをモジュールといいます。 太陽光発電は通常モジュールを複数枚、直列あるいは並列に配列し、屋根の架台に設置しています。
パワーコンディショナ専用ブレーカ	太陽光発電専用のブレーカです。商用電源からパワーコンディショナを電気的に切り離す役割をします。
運転モード	パワーコンディショナの運転形式です。電力会社と連系し売電／買電を行う**「連系運転モード」**と、停電時に使用する**「自立運転モード」**があります。
系統連系	日中に発電し余った電力を電力会社に売ります。夜間などに不足する電力を電力会社から購入します。このように電力会社から送られてくる電力と連系してご家庭の消費電力をおぎなうしくみのことです。
交流	電力会社からご家庭のコンセントにきている電気が交流です。
再起動	エラーを解除しパワーコンディショナを再び起動させることです。
自立運転	電力会社からの電力とは連系せず、自立して運転する事です。これにより日射が有れば停電時でも電気機器を使用できます。
自立運転モード	自立運転を行うための運転モードです。
自立運転用コンセント	自立運転時に電気機器を使用するコンセントです。自立運転時のみ使用することができます。
商用電源（単相三線式）	電力会社からご家庭に供給される交流電源のことで、家庭用では単相交流100V（50/60Hz）が一般的です。 交流にはいくつか種類があり、ご家庭に引き込まれているものを単相交流といい単相三線式という形になっています。
消費電力	ご家庭で冷蔵庫やテレビなどの電気機器を使用し消費している電力です。
積算発電量	設置してから現在までの発電量の合計です。
太陽電池モジュール	太陽の光のエネルギーを直接電気エネルギーに変換することができる機器です。
直流	太陽電池で発電される電気が直流です。
通常画面	カラー電力モニタの基本的な画面です。現在時刻、積算発電量、現在の発電状態などが表示されています。

用　　語	意　　味
電力（kW）と電力量（kWh）	電力は、時々刻々変化するある瞬間における値です。単位は**「kW」（キロワット）**で表します。電力量は、時々刻々変化する電力のある期間の合計値です。単位は**「kWh」（キロワットアワー）**で、例えば2kWの電気を3時間使い続けた場合、2（kW）×３（h）＝６（kWh）の消費電力量となります。詳しくは、「電力と電力量」（6ページ）を参照してください。
発電電力	太陽光発電システムで発電した電力のことです。
目標消費電力量	節電を行うための目標にする消費電力量です。**「省エネナビ機能」**で使用します。
連系運転	商用電源と系統連系して運転する事です。これにより電力会社と売電／買電する事ができます。
連系運転モード	連系運転を行うための運転モードです。

連系運転時

商用電源と系統連系して自動運転します。
連系運転時は特に操作する必要はありません。

①：発電電力が消費電力より大きいとき余った電気を電力会社に売ります。→**売り電力（売電）**
②：発電電力が消費電力より小さいとき不足分を電力会社から買います。→**買い電力（買電）**

自立運転時（停電時）

商用電源と系統連系せずに発電した電力を直接使用します。
停電時に使用します。

索引

は

ひ

ほ

も

よ

れ

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

住宅用太陽光発電システム（カラー液晶タイプ）

この製品は、こんなところがエコロジークラス

創エネ　太陽の光から電気をつくる

屋根に設置した太陽電池モジュールで電気をつくります。電気をつくるときに、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しないため、環境保護に貢献できます。

省エネ　カラー電力モニタでさらなる省エネをアシスト

カラー電力モニタで、いま屋根で発電している電力量や、いま家庭で消費している電力量などをリアルタイムに確認できます。1ヶ月間の状況をグラフで見たり、節電目標を設定したりすることで、気軽に楽しく省エネに取り組んでいただけます。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。▶▶▶ パソコン

シャープ　お問い合わせ

http://www.sharp.co.jp/support/

使用方法のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 48 - 4649

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■ＩＰ電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話	ファックス
06-6792-1582	06-6792-5993
〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

受付時間　●月曜～土曜：**9：00～18：00**　●日曜・祝日：**9：00～17：00**　（年末年始を除く）

修理のご相談など

【修理相談センター】

0120 - 02 - 4649

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■ＩＰ電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

	電話	ファックス
東日本地区→	043-299-3863	043-299-3865
西日本地区→	06-6792-5511	06-6792-3221

受付時間　●月曜～土曜：**9：00～20：00**　●日曜・祝日：**9：00～17：00**　（年末年始を除く）

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2009.7）

シャープ株式会社

本社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

ソーラーシステム事業本部　〒639-2198　奈良県葛城市薑（ハジカミ）282番1

TINSJ0539SNZZ-B

LN6BTS1

09A01.0-K

この取扱説明書は再生紙および植物性大豆油インクを使用しています。